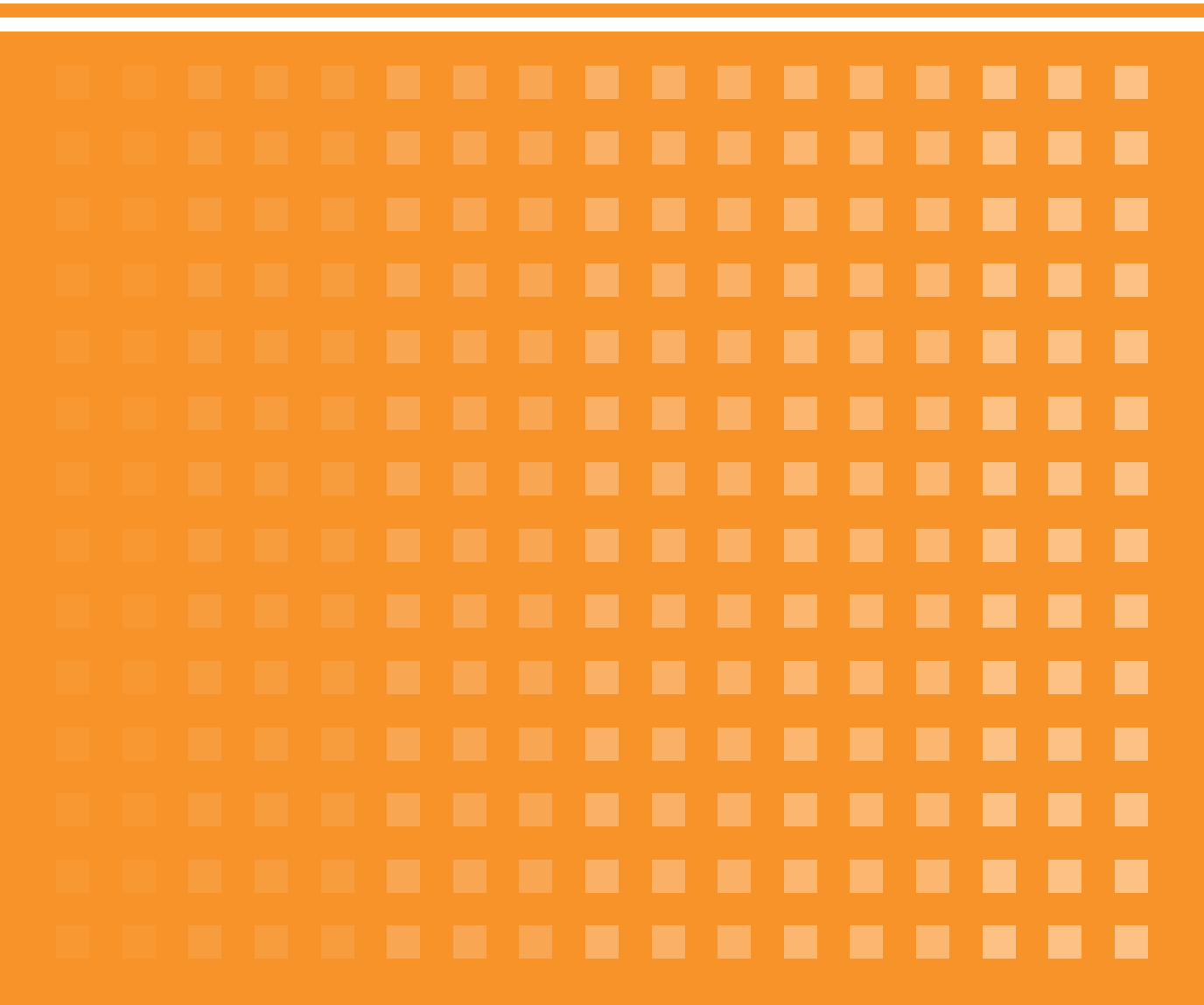


2022年度 国立大学法人 長崎大学概要

NAGASAKI UNIVERSITY



理 念

長崎大学は、長崎に根づく伝統的文化を継承しつつ、豊かな心を育み、地球の平和を支える科学を創造することによって、社会の調和的發展に貢献する。

基本的目標

長崎大学は、1857年にオランダ人医師ポンペ・ファン・メールデルフォールトにより行われた日本初の医学伝習を創基とし、戦争被爆による壊滅の体験を経て、1949年各種専門教育機関を糾合し、5学部1研究所から構成される新制大学として再構築された。

大学の理念として「出島を介した『勉学の地』としての誇りと『進取の精神』を受け継ぐとともに、宗教や科学における非人道的な負の遺産にも学び、人々が『平和』に共存する世界を実現するという積極的な意志の下に教育・研究を行う。そして、蓄積された『知』を時代や価値観を越えて継承し、人類を愛する豊かな心を育て、未来を拓く新しい科学を創造することによって、地域と国際社会の平和的發展に貢献する。」を掲げ、現在、10学部7研究科2研究所及び長崎大学病院を有する総合大学に発展している。

第3期中期目標期間においては、本学の特色である感染症分野での貢献を基軸に、グローバルヘルスに貢献する大学としての役割を加速してきた。熱帯医学・グローバルヘルス研究科を中心として、ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院との連携で推進する卓越大学院プログラム「世界を動かすグローバルヘルス人材育成プログラム（平成30年度採択）」の実施やBSL-4実験施設の竣工（令和3年度）はその例である。

第4期中期目標期間においては、グローバルヘルスに貢献する大学から、地球の健康、すなわち、プラネタリーヘルスに貢献する大学へと進化する。21世紀になり、人間の活動に起因する、気候変動、食糧危機、生物多様性の減少、環境汚染、貧困、格差、パンデミックなどが益々深刻化している。これら現代の地域・環境が抱える諸課題は地球規模で重層化、多様化しており、これらが人間の福利や健康に影響を及ぼすことも明らかになってきている。長崎大学は、人類と地球の抱える多様で相互に関連する問題群の解決に向けて、学際的にその知を結集・創造し、国内外の諸機関等との連携をはかりつつ、プラネタリーヘルスの実現に貢献する世界的“プラネタリーヘルス”教育研究拠点となる。

目 次

沿 革

沿革……………2

組 織

機構図……………12

歴代学長……………14

役員会構成員……………15

学長選考・監察会議委員……………15

経営協議会委員……………15

教育研究評議会評議員……………15

役職員……………16

役員・職員数……………18

教育研究等

学部

多文化社会学部……………19

教育学部……………19

経済学部……………19

医学部……………19

歯学部……………19

薬学部……………19

情報データ科学部……………19

工学部……………19

環境科学部……………19

水産学部……………19

大学院

多文化社会学研究科……………19

教育学研究科……………19

経済学研究科……………19

工学研究科……………20

水産・環境科学総合研究科……………20

医歯薬学総合研究科……………20

熱帯医学・グローバルヘルス研究科……………20

学年暦……………20

附属施設等

附属研究所 熱帯医学研究所……………21

附属研究所 原爆後障害医療研究所……………21

附属研究所 高度感染症研究センター……………21

附属図書館……………22

病院……………23

教育学部附属学校・園……………24

保健センター……………25

長崎大学教育研究プロジェクト拠点……………26

国際交流推進室……………26

特色ある教育・研究

特色ある教育……………27

特色ある研究……………28

学生数等

学生数……………29

令和4年度入学者状況……………31

令和3年度卒業生（修了者）及び進路状況……………32

過去5年間の進路状況の推移……………33

学位授与数……………34

国際交流

令和4年度外国人留学生……………35

海外の大学等との学術交流協定締結状況……………36

社会貢献

産学連携……………43

財 政

令和4年度予算額……………44

外部資金等……………44

キャンパス

文教キャンパス……………45

坂本キャンパス……………46

片淵キャンパス……………48

厚生補導施設等……………49

土地・建物・船舶……………50

部局等所在地一覧……………52

長崎大学位置図……………54

長崎大学ロゴマーク……………55



沿革

安政4（1857）年11月12日、長崎奉行所西役所の一室において、第二次海軍伝習所医官ボンペ・ファン・メールデルフォールトが医学伝習を開始したことをもって、長崎大学の創基とする。

安政4. 11 (1857年)	・長崎奉行所西役所の一室において医学伝習を開始	11. 1 (1878年)	・長崎病院医学場を長崎医学校と改称
文久元. 9 (1861年)	・養生所を開設（長崎大学病院の起源）	2	・官立長崎師範学校廃止。建物及び備品は長崎県に移管
	・医学所を養生所横に併置（医学教育機関としての整備が完了）	6	・崎陽師範学校を長崎師範学校と改称
慶応元 (1865年)	・養生所を精得館と改称。10月、物理・化学などの基礎科学教育機関である分析窮理所を設置	12. 1 (1879年)	・長崎医学校を県立とし、長崎病院を医学校附属に代用
明治元. 10 (1868年)	・精得館を長崎府医学校と改称	16 (1883年)	・文部省令医学校通則に基づいて、長崎医学校は甲種医学校（卒業後無試験で医師免許を授与。全国で13校）に指定される
2 (1869年)	・長崎県病院医学校	17. 6 (1884年)	・長崎県女子師範学校設置
4. 10 (1871年)	・長崎県病院医学校が文部省所管となり、長崎医学校と改称	19. 4 (1886年)	・長崎県女子師範学校が長崎師範学校女子部となる
7 (1874年)	・台湾出兵により、長崎医学校廃止。病院は藩地事務支局病院となる	6	・長崎師範学校女子部に附属幼稚園を設置
2	・官立長崎師範学校設置	6	・師範学校令が公布され、長崎師範学校は長崎県尋常師範学校と改称
3	・長崎県小学教則講習所設置	20. 8 (1887年)	・中学校令に基づいて第五高等中学校医学部を設置。9月、長崎医学校は廃止
8 (1875年)	・台湾出兵終了により、藩地事務支局病院の建物等が長崎県に復帰。政府補助のもと長崎病院を設置	23. 6 (1890年)	・第五高等中学校医学部に薬学科を設置（薬学科の起源）
2	・長崎県小学教則講習所を養成所と改称	24. 9 (1891年)	・西彼杵郡浦上山里村に第五高等中学校医学部、同薬学科が新築移転（坂本キャンパスの設置起源）
11	・官立長崎師範学校附属小学校開設	27. 9 (1894年)	・高等学校令に基づいて第五高等中学校医学部は第五高等学校医学部及び同薬学科と改称
9. 1 (1876年)	・養成所を小学教師養成所と改称	31. 4 (1898年)	・師範教育令に基づいて、長崎県尋常師範学校は長崎県師範学校と改称
5	・小学教師養成所を長崎県公立師範学校と改称	34. 3 (1901年)	・専門学校令に基づいて、第五高等学校医学部は第五高等学校から分離独立し長崎医学専門学校及び同薬学科を設置
6	・長崎病院内に医学場を開設し、医学教育機関が再開		
10. 4 (1877年)	・長崎県公立師範学校を崎陽師範学校と改称		

36 (1903年)	・長崎県立長崎病院に附属看護婦養成所を設置	14. 5 (1939年)	・長崎医科大学に臨時附属医学専門部設置
38. 3 (1905年)	・長崎高等商業学校を設置（経済学部、片淵キャンパスの起源）	17. 3 (1942年)	・長崎県青年学校教員養成所女子部を諫早高等女学校内に開設
41. 4 (1908年)	・長崎県師範学校女子部が長崎県女子師範学校として分離独立	3	・長崎医科大学附属東亜風土病研究所設置（熱帯医学研究所の起源）
大正 6. 5 (1917年)	・長崎高等商業学校に海外貿易科を設置	9	・長崎高等商業学校研究館を大東亜経済研究所と改称
9. 11 (1920年)	・長崎高等商業学校に研究館が寄附される（現在の瓊林会館）	18. 4 (1943年)	・師範教育令改正に基づいて、長崎県師範学校・長崎県女子師範学校が統合されて官立長崎師範学校となり、専門学校水準に昇格
10 (1921年)	・長崎県実業補習学校教員養成所を諫早町に設置	19. 3 (1944年)	・長崎高等商業学校を長崎経済専門学校に改称
11. 4 (1922年)	・長崎県より長崎病院が国に寄附され、これを長崎医学専門学校附属医院とする	4	・長崎経済専門学校に長崎工業経営専門学校を併設
	・附属医院に助産婦及看護婦養成所を設置		・師範教育令改正に基づいて、長崎県青年学校教員養成所（男子部・女子部）は官立長崎青年師範学校となり、専門学校水準に昇格、長崎県青年学校教員養成所水産科は廃止
12. 3 (1923年)	・官立医科大学官制によって長崎医学専門学校は長崎医科大学に昇格し、附属医学専門部及び附属薬学専門部を併置		・長崎医科大学の臨時附属医学専門部を附属医学専門部に改称
	・長崎医学専門学校附属医院は長崎医科大学附属医院となり、助産婦及看護婦養成所を併置	20. 6 (1945年)	・長崎医科大学附属医院産婆看護婦養成所を厚生女学部へ改称
14. 4 (1925年)	・長崎医科大学附属医学専門部廃止	8	・長崎市に原爆投下 長崎医科大学（附属医学専門部、附属薬学専門部を含む）897名、長崎師範学校54名、長崎高等商業学校27名、長崎青年師範学校1名の計979名の学生、教職員が犠牲となる
昭和 3 (1928年)	・長崎県実業補習学校教員養成所に水産科新設（水産学部の起源）		
4. 2 (1929年)	・長崎医科大学附属医院助産婦及看護婦養成所を産婆看護婦養成所に改称		
3	・長崎高等商業学校に貿易別科設置		
12	・長崎医科大学附属野母臨海実験所落成		
10. 4 (1935年)	・長崎県実業補習学校教員養成所を長崎県立青年学校教員養成所と改称		
12. 4 (1937年)	・長崎県師範学校、西彼杵郡西浦上村に新築移転（現在の附属小・中学校敷地）		

・原爆被災後の復興の歴史は次のとおりです。

21. 4 (1946年)	・長崎工業経営専門学校廃止。大東亜経済研究所を産業経営研究所と改称	29. 4 (1954年)	・長崎大学大村分校を長崎大学分校と改称
	・長崎医科大学附属東亜風土病研究所、同風土病研究所と改称	30. 4 (1955年)	・経済学部にて経済学専攻科設置
22. 3 (1947年)	・長崎医科大学附属医学専門部廃止		・医学部に講座制施行
5	・長崎高等学校（旧制）設置		・大学院医学研究科設置
23. 4 (1948年)	・長崎青年師範学校に水産科再設置		・医学部に附属助産婦学校設置
24. 5 (1949年)	・国立学校設置法（昭和24年法律第150号）により、旧制の長崎医科大学、長崎医科大学附属薬学専門部、長崎経済専門学校、長崎師範学校、長崎青年師範学校、長崎高等学校を包括し、学芸学部（甲類・小学校教員養成科、中学校高等学校教員養成科、乙類・小学校教員養成科、中学校高等学校教員養成科）、経済学部（経済学科、商学科）、医学部（医学科）、薬学部（薬学科）、水産学部（漁業学科、水産製造学科、水産増殖学科）の5学部にて附属図書館を置き、風土病研究所が附置され、学部附属の学校又は教育施設として、学芸学部にて小学校、中学校、幼稚園、医学部に病院、病院分院、看護婦養成施設を持つ新制長崎大学を設置	31. 1 (1956年)	・補導部を学生部と改称
		4	・薬学部にて薬学専攻科設置
		35. 3 (1960年)	・長崎医科大学廃止
		4	・水産学部にて水産専攻科設置
		37. 4 (1962年)	・医学部に附属原爆後障害医療研究施設設置
		39. 4 (1964年)	・教養部設置（分校廃止）
			・水産学部にて附属練習船「長崎丸」設置
		40. 3 (1965年)	・薬学専攻科廃止
		4	・大学院薬学研究科設置
			・学芸学部にて学芸専攻科設置
		41. 4 (1966年)	・保健管理センター設置
			・工学部（機械工学科、電気工学科）設置
昭和25. 3 (1950年)	・長崎高等学校廃止		・学芸学部を教育学部と改称、これに伴い学芸専攻科を教育専攻科に改称
5	・大村一般教養部、長崎一般教養部を統合して大村分校設置	42. 4 (1967年)	・教育学部に養護学校教員養成課程設置
			・薬学部にて製薬化学科設置
26. 3 (1951年)	・長崎大学商業短期大学部併設		・工学部に構造工学科設置
	・医学部附属看護学校設置	6	・風土病研究所を熱帯医学研究所と改称
	・長崎医科大学附属薬学専門部、長崎経済専門学校、長崎師範学校、長崎青年師範学校廃止		・水産学部にて附属水産実験所設置
6	・厚生補導部を補導部と改称	43. 4 (1968年)	・経済学部にて貿易学科設置
28. 3 (1953年)	・学芸学部が長崎市大橋町に移転（現在の文教キャンパス）	44. 4 (1969年)	・工学部に土木工学科設置
4	・水産学部にて専攻科（特設専攻科）設置	12	・電子計算機室設置

45. 4 (1970年)	<ul style="list-style-type: none"> ・水産専攻科改廃止（漁業専攻中の特設専攻科を遠洋漁業専攻と改称し、漁業専攻、水産製造専攻、水産増殖専攻は廃止） ・大学院水産学研究科設置 ・工学部に材料工学科設置 	51. 4 (1976年)	<ul style="list-style-type: none"> ・工学部に電子工学科設置 ・大学院工学研究科設置（機械工学・電気工学・構造工学・材料工学） ・工学研究科に工業化学専攻設置 ・九州地区国立大学島原共同研修センター設置
46. 2 (1971年)	<ul style="list-style-type: none"> ・附属図書館の整備統合（教育学部分館、薬学部分館、水産学部分館、熱帯医学研究所分館廃止・経済学部分館、医学部分館は従来どおり存置） 	52. 4 (1977年)	<ul style="list-style-type: none"> ・工学研究科に土木工学専攻設置 ・工学専攻科廃止 ・歯学部創設準備室設置 ・商業短期大学部商業学科を商経学科（経済・法律専攻、経営情報専攻）と改称
4	<ul style="list-style-type: none"> ・教育学部に附属養護学校設置 ・経済学部商学科を経営学科と改称 ・大学院薬学研究科に製薬化学専攻設置 ・工学部に工学専攻科（機械工学、電気工学、構造工学）設置 	53. 3 (1978年)	<ul style="list-style-type: none"> ・R Iセンター設置 ・工学部に機械工学第二学科設置
47. 4 (1972年)	<ul style="list-style-type: none"> ・工学部に工業化学科設置 	54. 4 (1979年)	<ul style="list-style-type: none"> ・熱帯医学研究所に附属熱帯性病原体感染動物実験施設設置 ・附属図書館医学部分館を医学分館と改称
5	<ul style="list-style-type: none"> ・医学部に附属原爆医学資料センター設置 ・薬学部に附属薬用植物園設置 	5	<ul style="list-style-type: none"> ・情報処理センター設置（電子計算機室廃止）
48. 4 (1973年)	<ul style="list-style-type: none"> ・水産学部の漁業学科、水産製造学科及び水産増殖学科を水産学科に改組 ・工学部工学専攻科に土木工学専攻設置 ・教育学部に附属教育工学センター設置 	10	<ul style="list-style-type: none"> ・歯学部歯学科設置 ・歯学部創設準備室廃止
49. 4 (1974年)	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院水産学研究科漁業学専攻、水産製造学専攻及び水産増殖学専攻を水産学専攻に改称 ・工学部工学専攻科に材料工学専攻設置 ・教育学部に幼稚園教員養成課程設置 ・医学部附属原爆医学資料センターを医学部附属原爆被災学術資料センターと改称 ・熱帯医学研究所に附属熱帯医学資料室設置 	11	<ul style="list-style-type: none"> ・排水等分析処理センター設置（排水等分析センター廃止）
50. 4 (1975年)	<ul style="list-style-type: none"> ・水産学部に附属練習船「鶴洋丸」設置 	55. 4 (1980年)	<ul style="list-style-type: none"> ・医学部に附属動物実験施設設置 ・歯学部に附属病院創設準備室設置
6	<ul style="list-style-type: none"> ・排水等分析センター設置 	56. 4 (1981年)	<ul style="list-style-type: none"> ・工学研究科に電子工学専攻設置
		57. 4 (1982年)	<ul style="list-style-type: none"> ・歯学部附属病院設置 ・歯学部附属病院創設準備室廃止 ・商業短期大学部商経学科の専攻課程を2専攻課程から3専攻課程（経済専攻、経済法学専攻、経営情報専攻）に改組
		58. 4 (1983年)	<ul style="list-style-type: none"> ・工学研究科に機械工学第二専攻設置 ・医療技術短期大学部創設準備室設置 ・国際交流会館設置

59. 4 (1984年)	<ul style="list-style-type: none"> ・医療技術短期大学部（看護学科）併設 ・医療技術短期大学部創設準備室廃止 	平成元. 5 (1989年)	<ul style="list-style-type: none"> ・熱帯医学研究所を全国共同利用の研究所に改組
10	<ul style="list-style-type: none"> ・商業短期大学部を商科短期大学部と改称 ・水産学部水産学科18講座を6大講座に改組 	2. 4 (1990年)	<ul style="list-style-type: none"> ・工学部機械工学科及び機械工学第二学科を機械システム工学科に改組
61. 4 (1986年)	<ul style="list-style-type: none"> ・医療技術短期大学部に理学療法学科及び作業療法学科設置 ・医学部附属看護学校廃止 ・大学院歯学研究科設置 ・薬学研究科に医療薬科学専攻（博士課程前・後期）設置（薬学専攻及び製薬化学専攻を改組） ・薬学部の薬学科及び製薬化学科を薬科学科に改組 ・教育学部に附属教育実践研究指導センター設置（附属教育工学センター廃止） 	6	<ul style="list-style-type: none"> ・地域共同研究センター設置
6	<ul style="list-style-type: none"> ・計測・分析センター設置 ・外国人留学生指導センター設置 	3. 4 (1991年)	<ul style="list-style-type: none"> ・経済学部経済学科8学科目を3大学科目に、経営学科8学科目を2大学科目に、貿易学科6学科目をファイナンス学科2大学科目に改組、2共通学科目を廃止 ・工学部構造工学科4講座を2大講座に、土木工学科4講座を社会開発工学科2大講座に、材料工学科4講座を2大講座に、工業化学科4講座を応用化学科2大講座に改組 ・アイソトープ総合センター設置（R Iセンター廃止）
9	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全センター設置（排水等分析処理センター廃止） 	4. 4 (1992年)	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院工学研究科電気工学専攻及び電子工学専攻を電気情報工学専攻と改称
62. 4 (1987年)	<ul style="list-style-type: none"> ・医学部附属助産婦学校廃止 ・工学研究科に海洋生産開発学専攻（後期3年博士課程）設置 ・医療技術短期大学部に専攻科（助産学特別専攻）設置 	5. 4 (1993年)	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習教育研究センター設置
63. 4 (1988年)	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院海洋生産科学研究科（後期3年博士課程）設置 ・大学院工学研究科海洋生産開発学専攻は、海洋生産科学研究科へ移行 ・工学部電気工学科及び電子工学科を電気情報工学科に改組 ・総合情報処理センター設置（情報処理センター廃止） 	6. 4 (1994年)	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院教育学研究科設置 ・教育専攻科廃止 ・大学院工学研究科機械工学専攻及び機械工学第二専攻を機械システム工学専攻と改称 ・熱帯医学研究所10部門を3大部門に改組
		7. 4 (1995年)	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院経済学研究科設置 ・経済学専攻科廃止 ・大学院工学研究科土木工学専攻を社会開発工学専攻に、工業化学専攻を応用化学専攻に改称
		8. 5 (1996年)	<ul style="list-style-type: none"> ・留学生センター設置（外国人留学生指導センター廃止）
		9. 4 (1997年)	<ul style="list-style-type: none"> ・医学部に附属原爆後障害医療研究施設設置（附属原爆後障害医療研究施設及び附属原爆被災学術資料センター廃止）

10	<ul style="list-style-type: none"> ・水産学部に附属海洋資源教育研究センター設置（附属水産実験所廃止） ・熱帯医学研究所に附属熱帯病資料情報センター設置（附属熱帯医学資料室廃止） ・環境科学部（環境科学科）設置 ・教養部廃止 ・経済学部経済学科，経営学科及びファイナンス学科を総合経済学科に改組（昼夜開講制の実施） 	13. 4 (2001年)	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院生産科学研究科海洋生産開発学専攻及び海洋資源学専攻を海洋生産科学専攻及び物質科学専攻に改組 ・教育学部に附属教育実践総合センター設置（附属教育実践研究指導センター廃止） ・熱帯医学研究所に附属熱帯感染症研究センター設置（附属熱帯病資料情報センター廃止） ・医学部医学科の31小講座，1大講座を6大講座に改組
10. 4 (1998年)	<ul style="list-style-type: none"> ・教育学部小学校教員養成課程，中学校教員養成課程，養護学校教員養成課程及び幼稚園教員養成課程を学校教育教員養成課程及び情報文化教育課程に改組 ・大学院教育学研究科教科教育専攻に保健体育専修及び家政教育専修設置 ・工学部電気情報工学科を電気電子工学科及び情報システム工学科に改組 ・機器分析センター設置（計測・分析センター廃止） 	10	<ul style="list-style-type: none"> ・医学部に保健学科設置 ・大学院環境科学研究科設置 ・大学院医歯薬学総合研究科設置 ・大学教育機能開発センター設置 ・アドミッションセンター設置 ・医学部医学科の6大講座を4大学科目に改組 ・歯学部歯学科の18小講座を3大学科目に改組
11. 4 (1999年)	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院薬学研究科に臨床薬学専攻（独立専攻）を設置し，医療薬科学専攻を薬科学専攻に改称 ・副学長の設置（学生部長の廃止） ・事務局及び学生部の事務局一元化に伴い，学務部設置（学生部の廃止） 	14. 4 (2002年)	<ul style="list-style-type: none"> ・薬学部薬科学科の4大講座を2大学科目に改組 ・大学院医歯薬学総合研究科に附属原爆後障害医療研究施設及び附属薬用植物園設置（学部附属施設から研究科附属施設へ移行） ・先導生命科学研究支援センター設置（アイソトープ総合センター，遺伝子実験施設及び医学部附属動物実験施設の廃止）
12. 4 (2000年)	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院教育学研究科教科教育専攻に社会科教育専修及び理科教育専修設置 ・大学院医学研究科に新興感染症病態制御学系専攻（独立専攻）設置 ・大学院生産科学研究科（区分制博士課程）設置 ・遺伝子実験施設設置 ・長崎大学商科短期大学部（併設）廃止 	15. 4 (2003年)	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院医歯薬学総合研究科に附属原爆後障害医療研究施設及び附属薬用植物園設置（学部附属施設から研究科附属施設へ移行） ・先導生命科学研究支援センター設置（アイソトープ総合センター，遺伝子実験施設及び医学部附属動物実験施設の廃止） ・医学部・歯学部附属病院設置（医学部附属病院及び歯学部附属病院の統合） ・国立大学法人法（平成15年法律第112号）により，国立大学法人長崎大学が長崎大学を設置 ・大学院経済学研究科に経営意思決定専攻（博士後期課程）設置
		16. 4 (2004年)	

	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院生産科学研究科に環境共生政策学専攻及び環境保全設計学専攻（博士前期課程）並びに環境科学専攻（博士後期課程）設置 ・水産学部の水産専攻科廃止 ・知的財産本部設置 			
12	<ul style="list-style-type: none"> ・情報メディア基盤センター設置（総合情報処理センターの廃止） ・共同研究交流センター設置（地域共同研究センター、機器分析センター及び環境保全センターの廃止） 	21. 4 (2009年)	10	<ul style="list-style-type: none"> ・熱帯医学研究所に附属アジア・アフリカ感染症研究施設及び附属熱帯医学ミュージアム設置（附属熱帯感染症研究センター廃止） ・保健管理センターを保健・医療推進センターに改組 ・医学部・歯学部附属病院を病院に改組 ・男女共同参画推進センター設置（時限設置）
17. 4 (2005年)	<ul style="list-style-type: none"> ・計画・評価本部設置 ・国際連携研究戦略本部設置 ・環東シナ海海洋環境資源研究センター設置（水産学部附属海洋資源教育研究センターの廃止） ・心の教育総合支援センター設置（時限設置） ・長崎大学医療技術短期大学部（併設）廃止 	22. 4 (2010年)		<ul style="list-style-type: none"> ・大学院医歯薬学総合研究科に生命薬科学専攻（修士課程）設置 ・広報戦略本部設置 ・国際連携研究戦略本部東京オフィス設置 ・先端計算研究センター設置
18. 2 (2006年)	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院海洋生産科学研究科廃止 		11	<ul style="list-style-type: none"> ・国際連携研究戦略本部東京オフィスを長崎大学東京事務所に改組
4	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院医歯薬学総合研究科に熱帯医学専攻（修士課程）及び保健学専攻（修士課程）設置 ・薬学部薬科学科を6年制課程の薬学科及び4年制課程の薬科学科に改組 	23. 4 (2011年)		<ul style="list-style-type: none"> ・工学部7学科（機械システム工学科、電気電子工学科、情報システム工学科、構造工学科、社会開発工学科、材料工学科及び応用化学科）を1学科（工学科）に改組 ・大学院工学研究科及び大学院水産・環境科学総合研究科設置（大学院生産科学研究科を改組） ・熱帯医学研究所3部門を4部門（病原体解析、宿主病態解析、環境医学、臨床研究）に改組
5	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院歯学研究科廃止 			<ul style="list-style-type: none"> ・環東シナ海海洋環境資源研究センターを大学院水産・環境科学総合研究科附属環東シナ海環境資源研究センターに改組
7	<ul style="list-style-type: none"> ・産学官連携機構設置 			<ul style="list-style-type: none"> ・心の教育総合支援センターの廃止
19. 2 (2007年)	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院薬学研究科廃止 ・大学院環境科学研究科廃止 			<ul style="list-style-type: none"> ・産学官連携戦略本部設置（産学官連携機構、知的財産本部、共同研究交流センター及び生涯学習教育研究センターの廃止）
3				
20. 4 (2008年)	<ul style="list-style-type: none"> ・教育学部学校教育教員養成課程及び情報文化教育課程の2課程を学校教育教員養成課程の1課程に改組 ・大学院教育学研究科に教科実践専攻（修士課程）及び教職実践専攻（専門職学位課程）設置 ・大学院国際健康開発研究科設置 		6	
			12	<ul style="list-style-type: none"> ・研究推進戦略室設置
		24. 1 (2012年)		<ul style="list-style-type: none"> ・先端創薬イノベーションセンター設置

4	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院医歯薬学総合研究科に生命薬科学専攻（博士前期・後期）設置 ・大学院医学研究科廃止 ・言語教育研究センター設置 ・核兵器廃絶研究センター設置
12	<ul style="list-style-type: none"> ・地域教育連携・支援センター設置
25. 4 (2013年)	<ul style="list-style-type: none"> ・原爆後障害医療研究所設置（大学院医歯薬学総合研究科附属原爆後障害医療研究施設を改組）
7	<ul style="list-style-type: none"> ・熱帯医学研究所附属熱帯性病原体感染動物実験施設の廃止 （熱帯医学研究所附属熱帯性病原体感染動物実験施設の機能を先導生命科学研究支援センター動物実験施設へ集約化）
8	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい学生支援室の設置
10	<ul style="list-style-type: none"> ・国際教育リエゾン機構の設置（留学生センターの廃止） ・大学教育イノベーションセンターの設置（大学教育機能開発センター及びアドミッションセンターの統合）
26. 4 (2014年)	<ul style="list-style-type: none"> ・研究推進戦略本部の設置（研究推進戦略室の廃止） ・多文化社会学部の設置 ・教育学研究科教職実践専攻の改組（教育学研究科教科実践専攻を教職実践専攻に一本化） ・ICT基盤センターの設置（情報メディア基盤センターの廃止） ・福島未来創造支援研究センターの設置
9	<ul style="list-style-type: none"> ・原爆後障害医療研究所に附属放射線・環境健康影響共同研究推進センター設置
27. 4 (2015年)	<ul style="list-style-type: none"> ・熱帯医学・グローバルヘルス研究科（修士課程）の設置（医歯薬学総合研究科熱帯医学専攻及び国際健康開発研究科の改組）

	<ul style="list-style-type: none"> ・水産・環境科学総合研究科環境科学専攻（博士前期課程）の設置（環境共生政策学専攻及び環境保全設計学専攻の改組） ・インスティテューショナル・リサーチ室の設置
9	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画推進センターをダイバーシティ推進センターに改組
10	<ul style="list-style-type: none"> ・地方創生推進本部の設置
28. 4 (2016年)	<ul style="list-style-type: none"> ・医歯薬学総合研究科災害・被災者医療科学共同専攻（修士課程）の設置 ・医歯薬学総合研究科先進予防医学共同専攻（博士課程）の設置 ・原子力災害対策戦略本部の設置 ・海洋未来イノベーション機構の設置 ・水産・環境科学総合研究科附属環東シナ海環境資源研究センターを海洋未来イノベーション機構環東シナ海環境資源研究センターに改組
10	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの心の医療・教育センターの設置
29. 4 (2017年)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域教育総合支援センターの設置（地域教育連携・支援センター及び教育学部附属教育実践総合センターの統合） ・生命医科学域の設置 ・感染症共同研究拠点の設置
6	<ul style="list-style-type: none"> ・医歯薬学総合研究科に附属先進予防医学研究センター設置
30. 1 (2018年)	<ul style="list-style-type: none"> ・インスティテューショナル・リサーチ推進本部の設置（インスティテューショナル・リサーチ室の廃止）
3	<ul style="list-style-type: none"> ・国際健康開発研究科の廃止
4	<ul style="list-style-type: none"> ・多文化社会学研究科多文化社会学専攻（修士課程）の設置 ・熱帯医学・グローバルヘルス研究科グローバルヘルス専攻（博士後期課程）及び長崎大学ーロンドン大学衛生・熱帯医学大学院国際連携グローバルヘルス専攻（博士後期課程）の設置 ・先端計算研究センターの廃止 ・生産科学研究科の廃止

- 7 ・グローバル連携機構，研究開発推進機構，留学生教育・支援センター及び環境保全センターの設置（国際連携研究戦略本部，産学官連携戦略本部，研究推進戦略本部及び国際教育リエゾン機構の改組）
- 10 ・校友会の設置
- 31. 4 (2019年) ・人文社会科学域及び総合生産科学域の設置
- 令和元.10 (2019年) ・キャリアセンターの設置
- 2. 4 (2020年) ・情報データ科学部の設置
- ・多文化社会学研究科多文化社会学専攻（博士後期課程）の設置
- 7 ・教育開発推進機構の設置（大学教育イノベーションセンター及び地域教育総合支援センターの改組）
- 3. 4 (2021年) ・保健・医療推進センターを保健センターに改組
- 3. 10 (2021年) ・放射線総合センターの設置（先導生命科学支援センターの改組）
- 4. 4 (2022年) ・感染症研究出島特区の設置
- ・高度感染症研究センターの設置（感染症共同研究拠点の廃止）
高度感染症研究センターに附属BSL-4施設を設置
- ・教員免許状更新講習支援室の廃止



組 織

機 構 図

2022. 7. 1

学長選考・監察会議

学 長

- 計画・評価本部
- 広報戦略本部
- 原子力災害対策戦略本部
- インスティテューショナル・リサーチ推進本部
- ダイバーシティ推進センター
- 校友会

- 感染症研究出島特区
- バイオセーフティ管理監室

役 員 会

経 営 協 議 会

教育研究評議会

理事(7)

監事(2)

人 文 社 会 科 学 域 ※

総 合 生 産 科 学 域 ※

生 命 医 科 学 域 ※

多 文 化 社 会 学 部

教 育 学 部

経 済 学 部

医 学 部

歯 学 部

薬 学 部

情 報 デ ー タ 科 学 部

工 学 部

環 境 科 学 部

水 産 学 部

多文化社会学研究科

教育学研究科

経済学研究科

工学研究科

水産・環境科学総合研究科

医歯薬学総合研究科

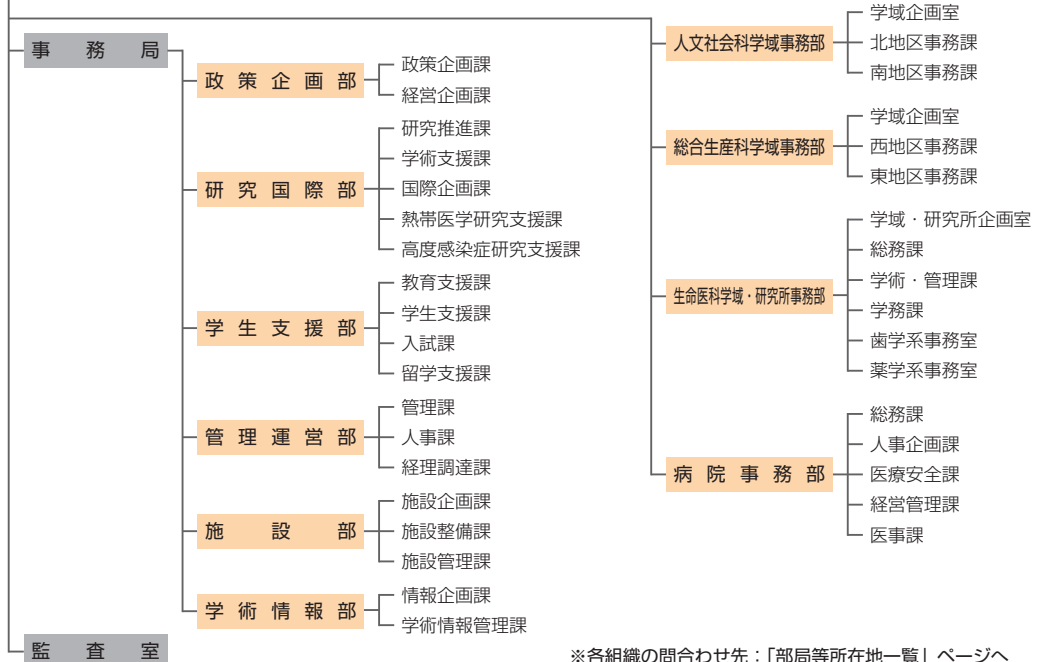
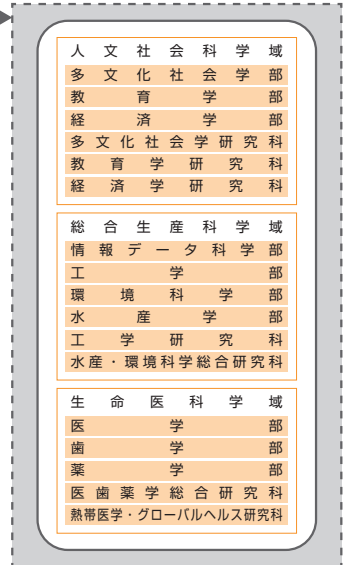
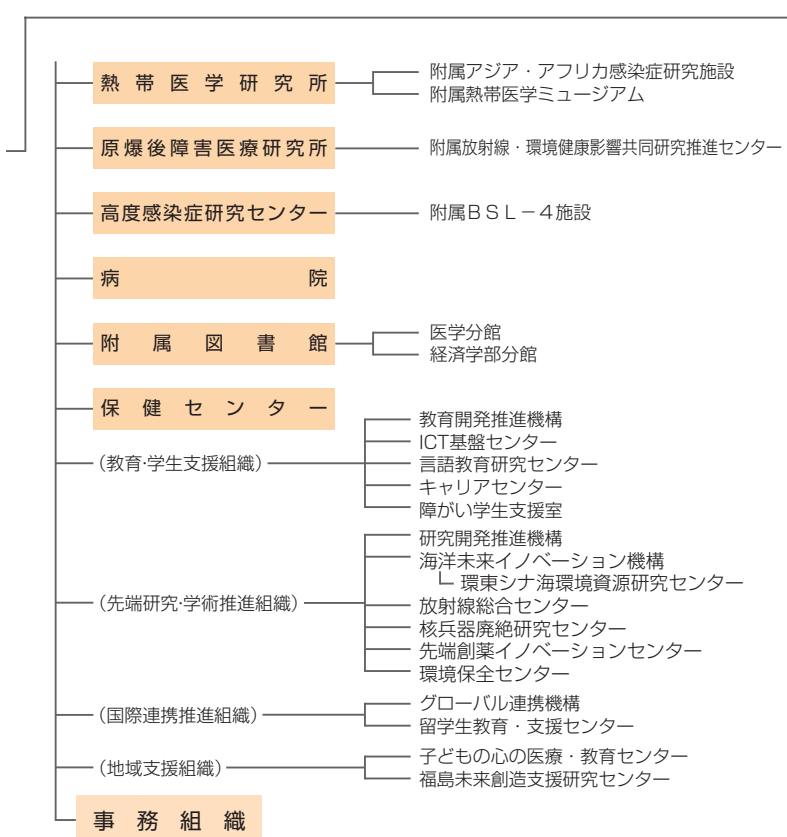
熱帯医学・グローバルヘルス研究科

※学域は教育研究組織から独立した教員組織

- 附属幼稚園
- 附属小学校
- 附属中学校
- 附属特別支援学校

- 附属練習船長崎丸
- 附属練習船鶴洋丸

- 附属先進予防医学研究センター
- 附属薬用植物園



※各組織の問い合わせ先：「部局等所在地一覧」ページへ

歴代学長

初代	高瀬 清	(任期：昭和24年6月29日～昭和27年6月5日)
(事務取扱)	池田 晋吾	(任期：昭和27年6月6日～昭和27年11月17日)
第2代	古屋野 宏平	(任期：昭和27年11月18日～昭和33年11月17日)
第3代	北村 精一	(任期：昭和33年11月18日～昭和37年11月17日)
第4代	和泉 成之	(任期：昭和37年11月18日～昭和41年11月17日)
第5代	後藤 敏郎	(任期：昭和41年11月18日～昭和44年4月3日)
(事務取扱)	栗原 道徳	(任期：昭和44年4月4日～昭和44年5月6日)
第6代	中塚 正行	(任期：昭和44年5月7日～昭和49年7月31日)
(事務取扱)	保田 正人	(任期：昭和49年8月1日～昭和49年10月10日)
第7代	具島 兼三郎	(任期：昭和49年10月11日～昭和55年10月10日)
第8代	福見 秀雄	(任期：昭和55年10月11日～昭和59年10月10日)
第9代	保田 正人	(任期：昭和59年10月11日～昭和63年10月10日)
第10代	土山 秀夫	(任期：昭和63年10月11日～平成4年10月10日)
第11代	横山 哲夫	(任期：平成4年10月11日～平成10年10月10日)
第12代	池田 高良	(任期：平成10年10月11日～平成14年10月10日)
第13代	齋藤 寛	(任期：平成14年10月11日～平成20年10月10日)
第14代	片峰 茂	(任期：平成20年10月11日～平成29年9月30日)
第15代	河野 茂	(任期：平成29年10月1日～現在)

役員会構成員

2022. 5. 1

議長	河野 茂	学長	永安 武	理事 (研究・社会連携・戦略企画担当)
	福永 博俊	理事 (総務担当)	伊東 昌子	理事 (学生・国際担当)
	平野 浩之	理事 (財務・施設担当)	田中 健一	理事 (基金・校友会・経営改革担当)
	森口 勇	理事 (教学担当)	才木 邦夫	理事 (広報担当)

学長選考・監察会議委員

2022. 5. 1

議長	永田 泉	一般財団法人平成紫川会小倉記念病院院長	福永 博俊	理事
	杉田 亮毅	株式会社日本経済新聞社参与	平野 浩之	理事
	谷口 功	独立行政法人国立高等専門学校機構理事長	門司 和彦	多文化社会学部長
	鶴田 栄次	長崎県立長崎東中学校・長崎東高等学校校長 (長崎県高等学校長協会会長)	前村 浩二	医学部長
	西 亮	滲透工業株式会社代表取締役社長	松田 浩	工学研究科長
	平田 研	長崎県副知事	赤石 孝次	人文社会科学域長
	安田 尚代	安田外国法事務弁護士事務所外国法事務弁護士	西田 教行	生命医科学域長

経営協議会委員

2022. 5. 1

議長	河野 茂	学長	片山 仁志	株式会社長崎文献社代表取締役社長
	福永 博俊	理事	倉持 隆雄	国立研究開発法人科学技術振興機構研究開発戦略センター副センター長
	平野 浩之	理事	杉田 亮毅	株式会社日本経済新聞社参与
	永安 武	理事	谷口 功	独立行政法人国立高等専門学校機構理事長
	田中 健一	理事	鶴田 栄次	長崎県立長崎東中学校・長崎東高等学校校長 (長崎県高等学校長協会会長)
	藤本 登	教育学部長	永田 泉	一般財団法人平成紫川会小倉記念病院院長
	深浦 厚之	経済学部長	西 亮	滲透工業株式会社代表取締役社長
	前村 浩二	医学部長	野瀬 弘志	長崎市上下水道事業管理者
	松田 浩	工学研究科長	平田 研	長崎県副知事
	中尾 一彦	病院長	広岡 敦子	住友化学株式会社顧問
			安田 尚代	安田外国法事務弁護士事務所外国法事務弁護士

教育研究評議会評議員

2022. 5. 1

議長	河野 茂	学長	滝澤 克彦	多文化社会学研究科長
	福永 博俊	理事	松田 浩	工学研究科長
	平野 浩之	理事, 事務局長	川上 純	歯歯薬学総合研究科長
	森口 勇	理事	北 潔	熱帯医学・グローバルヘルス研究科長
	永安 武	理事	金子 修	熱帯医学研究所長
	伊東 昌子	理事	宮崎 泰司	原爆後障害医療研究所長
	田中 健一	理事	柳 雄介	高度感染症研究センター長
	才木 邦夫	理事	中尾 一彦	病院長
	門司 和彦	多文化社会学部長	浜田 久之	附属図書館長
	藤本 登	教育学部長	吉田 文彦	核兵器廃絶研究センター長
	深浦 厚之	経済学部長	赤石 孝次	人文社会科学域長
	前村 浩二	医学部長	木村 正成	総合生産科学域長
	村田比呂司	歯学部部長	西田 教行	生命医科学域長
	西田 孝洋	薬学部長	澤井 照光	医学部保健学科長
	西井 龍映	情報データ科学部長	西野 友哉	保健センター長
	岡田 二郎	環境科学部長	井上 徹志	副学長
	武田 重信	水産学部長, 水産・環境科学総合研究科長	山本 郁夫	副学長

役職員

2022.5.1

役員

学長	河野 茂
理事（総務担当）	福永 博俊
理事（財務・施設担当）	平野 浩之
理事（教学担当）	森口 勇
理事（研究・社会連携・戦略企画担当）	永安 武
理事（学生・国際担当）	伊東 昌子
理事（基金・校友会・経営改革担当）（非常勤）	田中 健一
理事（広報担当）（非常勤）	才木 邦夫
監事	池松 誠二
監事（非常勤）	波多 順子
執行役員 人文社会科学域担当	赤石 孝次
執行役員 総合生産科学域担当	木村 正成
執行役員 生命医科学域担当	西田 教行
執行役員 病院担当	中尾 一彦

副学長

学生担当	井上 徹志
入試・地域教育連携担当	中村 典生
高大接続・入試広報担当	浜田 久之
産学連携担当	山本 郁夫
新型コロナウイルス感染症対策担当	泉川 公一
広報担当	松井 史郎
ダイバーシティ推進担当	吉田 ゆり
計画評価担当	中山 守雄
情報担当	小林 透

学長特別補佐・学長補佐

BSL-4担当	渡部 康一
国際交流担当	冨田 彰秀
プラネタリーヘルス担当	渡辺 知保
感染症研究出島特区担当	森田 公一
学長補佐	津留崎和義
学長補佐	一瀬 邦弘
学長補佐	宮崎 拓郎
学長補佐	近藤智恵子

計画・評価本部

本部長	河野 茂
-----	------

広報戦略本部

本部長	松井 史郎
広報戦略課長／校友会・基金室長	池野 和樹

原子力災害対策戦略本部

本部長	中尾 一彦
事務局長	高比良 治

インスティテューショナル・リサーチ推進本部

本部長	河野 茂
-----	------

ダイバーシティ推進センター

センター長	吉田 ゆり
-------	-------

監査室

室長	一橋 透
----	------

事務局

事務局長	平野 浩之
政策企画部長	飯嶋 浩恭
政策企画課長	南 千和子
経営企画課長	飯嶋 浩恭
研究国際部長	飯嶋 浩恭
研究国際部次長	森 勇造
研究推進課長	松尾 真
学術支援課長	高橋 耕輔
国際企画課長	増田 美紀
熱帯医学研究支援課長	松山 英樹
高度感染症研究支援課長	栗原 睦
学生支援部長	田中 宏智
学生支援部次長	遠藤 真一
教育支援課長	遠藤 真一
学生支援課長	橋口 洋二
キャリア支援室長	橋口 洋二
入試課長	杉森 智宏
留学支援課長	尾下 徳彦
管理運営部長	田島 修
管理課長	北村 寿朗
人事課長	山口 真邦
経理調達課長	原 善達
施設部長	松下 栄司
施設企画課長	尾崎 光芳
施設整備課長	中村 拓郎
施設管理課長	浦川 公宏
学術情報部長	佐藤 千夏
情報企画課長	土田 徹
学術情報管理課長	佐藤 千夏

学部等

人文社会科学域事務部

人文社会科学域事務部長	松尾 正則
学域企画室長	松尾 正則
北地区事務課長	松尾 正則
南地区事務課長	山口 秀喜

総合生産科学域事務部

総合生産科学域事務部長	本田 靖幸
総合生産科学域事務部次長	堀 和也
学域企画室長	本田 靖幸
西地区事務課長	堀 和也
東地区事務課長	橋口 文子

生命医科学域・研究所事務部

生命医科学域・研究所事務部長	土橋 一徳
学域・研究所企画室長	土橋 一徳
総務課長	富田 高廣
学術・管理課長	吉井 孝博
学務課長	林田 正昭
歯学系事務室長	長友 佳織
薬学系事務室長	吉田 恭二

多文化社会学部	
多文化社会学部長	門司 和彦
教育学部	
教育学部長	藤本 登
附属幼稚園長	室野亜津子
附属小学校長	古野 祐一
附属中学校長	山本 圭介
附属特別支援学校長	菅 昌徳
経済学部	
経済学部長	深浦 厚之
医学部	
医学部長	前村 浩二
歯学部	
歯学部長	村田比呂司
薬学部	
薬学部長	西田 孝洋
情報データ科学部	
情報データ科学部長	西井 龍映
工学部	
工学部長	松田 浩
環境科学部	
環境科学部長	岡田 二郎
水産学部	
水産学部長	武田 重信
附属練習船長崎丸船長	森井 康宏
附属練習船鶴洋丸船長	青島 隆
大学院	
多文化社会学研究科長	滝澤 克彦
教育学研究科長	藤本 登
経済学研究科長	深浦 厚之
工学研究科長	松田 浩
水産・環境科学総合研究科長	武田 重信
医歯薬学総合研究科長	川上 純
附属先進予防医学研究センター長	川上 純
附属薬用植物園長	西田 孝洋
熱帯医学・グローバルヘルス研究科長	北 潔
附置研究所	
熱帯医学研究所長	金子 修
附属アジア・アフリカ感染症研究施設長	金子 修
附属熱帯医学ミュージアム館長	山本 太郎
原爆後障害医療研究所長	宮崎 泰司
附属放射線・環境健康影響共同研究推進センター長	宮崎 泰司
高度感染症研究センター長	柳 雄介
附属BSL-4施設長	安田 二郎
病院	
病院長	中尾 一彦

副病院長	
総務	尾崎 誠
安全	江口 晋
診療	西野 友哉
経営	辻野 彰
人事	迎 寛
歯科統括	澤瀬 隆
看護統括	小淵美樹子
事務統括・事務部長	本田 秀史
総務課長	笹田 健太
人事企画課長	吉岡 裕敏
医療安全課長	黒田 恵美
経営管理課長	五島 博史
医事課長	島田 邦博

附属図書館	
附属図書館長	浜田 久之
医学分館長	下川 功
経済学部分館長	南森 茂太

保健センター	
センター長	西野 友哉

教育・学生支援組織	
教育開発推進機構長	森口 勇
ICT基盤センター長	小林 透
言語教育研究センター長	西原 俊明
キャリアセンター長	井上 徹志
障がい学生支援室長	伊東 昌子

先端研究・学術推進組織	
研究開発推進機構長	永安 武
海洋未来イノベーション機構長	征矢野 清
環東シナ海環境資源研究センター長	河邊 玲
放射線総合センター長	工藤 崇
核兵器廃絶研究センター長	吉田 文彦
先端創薬イノベーションセンター長	田中 義正
環境保全センター長	福永 博俊

国際連携推進組織	
グローバル連携機構長	伊東 昌子
留学生教育・支援センター長	尋田 彰秀

地域支援組織	
子どもの心の医療・教育センター長	田中 悟郎
福島未来創造支援研究センター長	高村 昇

人文社会科学域	
学域長	赤石 孝次

総合生産科学域	
学域長	木村 正成

生命医科学域	
学域長	西田 教行

役員・職員数

2022.5.1

(人)

部局	区分	役員・教 育 職 員											小計	その他の職員	合計						
		学長	理事	監事	執行役員	副学長	学長特別補佐	学長補佐	教授	准教授	講師	助教				助手	教諭				
バイオセーフティ管理監室									1							1		1			
計画・評価本部									1							1		1			
広報戦略本部									1							1	7	8			
原子力災害対策戦略本部																0	2	2			
イノベーション・リサーチ推進本部																0	1	1			
ダイバーシティ推進センター											1					1	1	2			
多文化社会学部																0	3	3			
教育学部																0	1	1			
附属幼稚園															7	7	7				
附属小学校															30	30	30				
附属中学校															26	26	26				
附属特別支援学校															27	27	27				
経済学部																0	1	1			
医学部																0	1	1			
水産学部																0	2	2			
附属練習船長崎丸									1	2		2				5	15	20			
附属練習船鶴洋丸											2		1			3	12	15			
工学研究科																0	37	37			
医歯薬学総合研究科																0	24	24			
熱帯医学・グローバルヘルス研究科																0	5	5			
熱帯医学研究所									13	8		25				46	4	50			
附属アジア・アフリカ感染症研究施設													1			1	2	3			
附属熱帯医学ミュージアム																0	1	1			
原爆後障害医療研究所									9	4		19				32	3	35			
附属放射線・環境健康影響共同研究センター									1	1		2				4	1	5			
高度感染症研究センター									6	3		3				12	5	17			
病院									18	16	53	176	44			307	1,441	1,748			
保健センター										3		2				5	10	15			
教育開発推進機構									4	3		1				8	2	10			
ICT基盤センター									1	3						4	1	5			
言語教育研究センター									6	1	1	7				15		15			
キャリアセンター											2					2		2			
障がい学生支援室												1				1	2	3			
研究開発推進機構									1	4		1				6	15	21			
海洋未来イノベーション機構									1	1						2	2	4			
環境シナリオ環境資源研究センター									3			3				6	2	8			
放射線総合センター												1				1		1			
核兵器廃絶研究センター									3	1						4	4	8			
先端創薬イノベーションセンター									1							1		1			
環境保全センター										1						1	1	2			
グローバル連携機構									1	2		2				5	1	6			
留学生教育・支援センター									1	3		1				5		5			
感染症研究出島特区									1							1		1			
人文社会科学域									56	77	2	14				149		149			
総合生産科学域									80	84		33	1			198	1	199			
生命医科学域									100	86	14	119				319		319			
監査室																0	3	3			
事務局		1	(2)	5	(1)	1	[4]	[9]	[4]	[4]					(3) [21]	7	245	(3) [21]	252		
人文社会科学域事務部																0	45	45			
総合生産科学域事務部																0	43	43			
生命医科学域・研究所事務部																0	50	50			
総計		1	(2)	5	(1)	1	[4]	[9]	[4]	[4]	310	308	70	414	45	90	(3) [21]	1,996	(3) [21]	3,240	

※理事（2）、監事（1）は、非常勤役員で外数。執行役員〔4〕、副学長〔9〕、学長特別補佐〔4〕及び学長補佐〔4〕は教育職員または理事の兼務で内数。



教育研究等

学 部		
学 部	学科・課程	講 座
多文化社会学部 1 学科 5 コース	多文化社会学科	国際公共政策 社会動態 共生文化 言語コミュニケーション オランダ特別
教育学部 1 課程 3 講座	学校教育教員養成課程	義務教育開発 中等教育 人間発達
経済学部 1 学科 5 コース	総合経済学科	経済と政策 グローバル経済 ファイナンス 経営と会計 総合経済(夜間主) ※現コースは2023年3月まで
医学部 2 学科 6 学科目	医学科	基礎医学 社会医学 臨床医学
	保健学科	看護学 理学療法学 作業療法学
歯学部 1 学科	歯学科	
薬学部 2 学科	薬学科	
	薬科学科	
情報データ科学部 1 学科	情報データ科学科	
工学部 1 学科 6 コース	工学科	機械工学 電気電子工学 情報工学 構造工学 社会環境デザイン工学 化学・物質工学
環境科学部 1 学科 2 学系	環境科学科	人間社会環境 環境保全設計
水産学部 1 学科 4 講座	水産学科	海洋生産システム学 海洋資源動態科学 海洋生物機能科学 海洋物質科学

大学院

研究科	課 程	専 攻
多文化社会学研究科	博士前期課程 博士後期課程	多文化社会学専攻
教育学研究科	専門職学位課程	教職実践専攻
経済学研究科	博士前期課程	経済経営政策専攻
	博士後期課程	経営意思決定専攻

研究科	課程	専攻
工学研究科	博士前期課程	総合工学専攻
	博士後期課程	生産システム工学専攻
	博士課程 (5年一貫制)	グリーンシステム創成科学専攻
水産・環境科学 総合研究科	博士課程 (前期)	水産学専攻 環境科学専攻
	博士課程 (後期)	環境海洋資源学専攻
	博士課程 (5年一貫制)	海洋フィールド生命科学専攻
医歯薬学 総合研究科	修士課程	保健学専攻 災害・被ばく医療科学共同専攻
	博士課程	医療科学専攻 新興感染症病態制御学系専攻 放射線医療科学専攻 先進予防医学共同専攻
	博士課程 (前期・後期)	生命薬科学専攻
熱帯医学・グローバル ヘルス研究科	博士前期課程	グローバルヘルス専攻
	博士後期課程	グローバルヘルス専攻 長崎大学ーロンドン大学衛生・熱帯医学大学院国際連携グローバルヘルス専攻

学 年 暦

4月	1日(金) 学年始	12月	12月24日(土)～1月4日(水) 冬季休業
	4日(月) 入学式	1月	
5月	31日(火) 開学記念日	2月	
6月		3月	3月21日(火)～4月2日(日) 春季休業
7月			24日(金) 卒業式
8月	8月11日(木)～9月25日(日) 夏季休業	31日(金) 学年終	
9月	26日(月) 後期授業開始		
10月	10月28日(金)～10月30日(日) 学園祭		
11月			



附属施設等

附置研究所 熱帯医学研究所

研究部門および研究分野	総合目標
病原体解析部門 ウイルス学, 新興感染症学, 細菌学, 原虫学, 寄生虫学, 分子疫学 宿主病態解析部門 免疫遺伝学, 感染生化学, 病理学, エイズ・感染防御環境医学部門, 生態疫学, 国際保健学, 国際健康開発政策学, 病害動物学 臨床研究部門 臨床感染症学, 小児感染症学, 呼吸器ワクチン疫学, 臨床開発学 シオノギグローバル感染症連携部門 細胞環境構築学, 分子感染ダイナミクス解析, 免疫病態制御学, 創薬探索研究 アジア・アフリカ感染症研究施設 熱帯医学ミュージアム	1. 熱帯医学及び国際保健における先導的研究 2. 研究成果の応用による熱帯病の防圧ならびに健康増進への国際貢献 3. 上記に係る研究者と専門家の育成

附置研究所 原爆後障害医療研究所

研究部門 (研究分野)	目的
放射線リスク制御部門 放射線分子疫学, 国際保健医療福祉学, 放射線災害医療学, 放射線生物・防護学, 健康リスク学 細胞機能解析部門 幹細胞生物学, 分子医学 原爆・ヒバクシャ医療部門 血液内科学, 腫瘍・診断病理学, アイストープ診断治療学 ゲノム機能解析部門 人類遺伝学, ゲノム修復学 附属放射線・環境健康影響共同研究推進センター 共同研究推進部 資料収集保存・解析部 資料調査室 生体材料保存室	放射線健康リスク評価とリスクコミュニケーション 細胞機能の側面からの放射線人体影響の基礎研究 被爆者医療 遺伝子の側面からの放射線人体影響の基礎研究 放射線に関する共同研究の推進

附置研究所 高度感染症研究センター

部門等	目的
研究部門 新興ウイルス, ウイルス生態, ウイルス感染動態 BSL-4 人材育成部門 バイオリスク管理部門 BSL-4 施設 先端機器管理室, 動物実験管理室, 施設支援室 リエゾン推進室	有効な予防・治療がなく致死率が高い感染症を起こす病原体の研究 BSL-4 に関する教育訓練と人材育成 バイオセーフティ及びバイオセキュリティの管理と調査研究 高度安全実験施設における研究の実施と安全管理 共同研究の推進、広報、地域連携などセンターの運営を支援

附属図書館

蔵書数

2022.4.1

館名	図書数			雑誌の種類		
	和漢書	洋書	計	和文	欧文	計
中央図書館	434,487	135,097	569,584	11,397	3,293	14,690
医学分館	69,766	69,824	139,590	3,729	3,201	6,930
経済学部分館	193,890	83,676	277,566	3,829	1,169	4,998
計	698,143	288,597	986,740	※17,495	※7,253	※24,748

※雑誌の種類は3館合計の重複数を除いた数を計上

利用状況（令和3年度）

館名	区分	教職員	学生	※その他	計
中央図書館	入館者数	6,583	191,654	356	198,593
	貸出冊数	5,377	44,988	349	50,714
医学分館	入館者数	6,512	56,736	39	63,287
	貸出冊数	2,722	7,032	9	9,763
経済学部分館	入館者数	3,140	16,600	234	19,974
	貸出冊数	2,123	4,044	0	6,167
計	入館者数	16,235	264,990	629	281,854
	貸出冊数	10,222	56,064	358	66,644

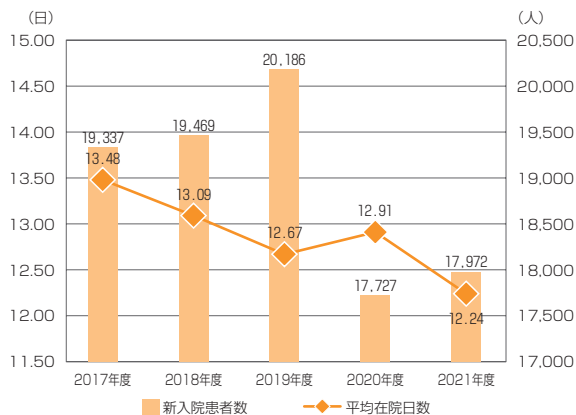
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため学内者のみ入館可能とした。数字はオープンキャンパス等の数

病 院

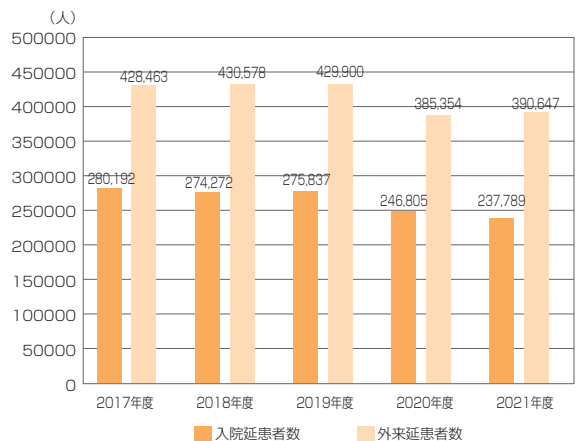
■診療データ（2021年度）

病床稼働率（%）	74.54			
平均在院日数（日）	12.24			
新入院患者数（人）	17,972			
初診の患者数（人）	23,601			
患者数（人）	入院 全体	入院延患者数 一日平均	237,789 651	
	医科	入院延患者数 一日平均	233,177 639	
	歯科	入院延患者数 一日平均	4,612 13	
	外来	全体	外来延患者数 一日平均	390,647 1,614
		医科	外来延患者数 一日平均	304,237 1,257
		歯科	外来延患者数 一日平均	86,410 357
	手術件数（件）	11,762		
	麻酔件数〈全身麻酔〉（件）	6,133		
救急外来患者数（人）	4,262			
ヘリコプターによる患者搬送数（件）	110			
分娩件数（件）	392			
臓器移植 手術件数 （件）	ドナー（脳死による提供）	0		
	レシピエント	肺 脳死 生体	3 1	
		肝 脳死 生体	1 9	
		腎 脳死 献腎（心停止下） 生体	2 0 4	
		脾 脳死 生体	1 0	

新入院患者数と平均在院日数



患者数（入院・外来）



■病床数（2022年4月1日現在）

	（床）
一般病床	827
精神病床	39
結核病床	6
感染症病床	2
計	874

教育学部附属学校・園

2022.5.1 (人)

区 分	学級区分	学 年	学 級 数	学級定員	総 定 員	現 員	
附属幼稚園		3歳児	2	16	32	31	
		4歳児	1	32	32	31	
		5歳児	1	32	32	32	
		計	4		96	94	
附属小学校	普通学級	1	3	30	90	90	
		2	3	30	90	88	
		3	3	30	90	89	
		4	3	30	90	83	
		5	3	30	90	83	
		6	3	30	90	88	
	複式学級	1	1	16	16	8	
		2				8	
		3	1	16	16	7	
		4				7	
		5				7	
		6	1	16	16	6	
	計		21		588	564	
附属中学校	普通学級	1	4	35	140	143	
		2	4	35	140	141	
		3	4	35	140	142	
	計		12		420	426	
附属 特別支援 学 校	普通学級 (2学年複式)	小学部	1				3
			2	1	6		3
			3				3
			4	1	6	18	3
			5				3
			6	1	6		3
	普通学級	中学部	1	1	6		6
			2	1	6	18	6
			3	1	6		4
	普通学級	高等部	1	1	8		8
			2	1	8	24	6
			3	1	8		7
計		9		60	55		

保健センター

2022.5.1 (人)

職員 (数)	センター 長 授	准 教 授	助 教 [1]	保 健 師	カ ウ ン セ ラ ー	事 務 職 員	計	学校医
								婦 人 科
	[1]	3	2 [1]	3	5	2	15 [2]	1

備考 保健センター（相談日）…毎日（平日のみ）
（注）〔 〕は兼務を示し外数

長崎大学教育研究プロジェクト拠点

名 称	所 在 地	設 置 目 的
長崎大学アフリカ海外教育研究拠点	ケニア共和国ナイロビ市	アフリカにおける教育・研究戦略の策定並びに国際共同研究及び教育活動の支援
長崎大学東南アジア海外教育研究拠点	ベトナム社会主義共和国ハノイ市	東南アジアにおける教育・研究戦略の策定並びに国際共同研究及び教育活動の支援
長崎大学英国教育研究プログラムオフィス	英国ロンドン市（ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院（LSHTM）内）	英国における国際共同研究及び教育活動の支援
ケニアプロジェクト拠点	ケニア共和国ナイロビ市（ケニア中央医学研究所内）	
ベトナムプロジェクト拠点 ニャチャン分室	ベトナム社会主義共和国ハノイ市（国立衛生疫学研究所内） ベトナム社会主義共和国ニャチャン市（カンファ県衛生局内）	熱帯病・新興感染症研究プロジェクトの推進
フィリピン共同研究センター	フィリピン共和国マニラ市（サン・ラザロ病院内）	フィリピンにおける教育研究プロジェクトの推進
チョルノービリプロジェクト代表部	ベラルーシ共和国ミンスク市（ベラルーシ卒業教育医学アカデミー内）	放射線健康リスク制御国際戦略拠点プログラムの推進
五島離島・へき地医療プロジェクト拠点	長崎県五島市（長崎県五島中央病院内）	寄附講座（離島・へき地医療学講座）の設置に関する協定書に基づく事業の推進
地域包括ケア教育研究室	長崎県長崎市（長崎みなとメディカルセンター内）	老年医学及び地域包括ケアシステムに係る教育研究活動の推進
遠隔病理育成拠点	千葉県鴨川市（亀田総合病院内）	ICTを用いた学生及び病理学従事者の教育並びにその効果的な体制に関する研究の推進
先進予防医学教育研究拠点	長崎県五島市（福江総合福祉保健センター内）	先進予防医学に係るコホート研究及び教育活動の推進
長崎大学・川内村復興推進拠点	福島県双葉郡川内村（川内村役場内）	福島県川内村との包括連携に関する協定書に基づく連携事項の推進
長崎大学・富岡町復興推進拠点	福島県双葉郡富岡町（富岡町健康づくり課内）	福島県富岡町との包括連携に関する協定書に基づく連携事項の推進
長崎大学・大熊町復興推進拠点	福島県双葉郡大熊町（大熊町保健福祉課内）	福島県大熊町との包括連携に関する協定書に基づく連携事項の推進
長崎大学・双葉町復興推進拠点	福島県双葉郡双葉町（双葉町健康福祉課内）	福島県双葉町との包括連携に関する協定書に基づく連携事項の推進
平戸臨床教育プロジェクト拠点	長崎県平戸市（国民健康保険平戸市民病院内）	地域医療及び国際貢献を通じた国境を越えた地域医療支援事業の推進
外来医療教育室	長崎県長崎市（済生長崎病院内及び長崎記念病院内、光晴会病院内） 長崎県佐世保市（石坂脳神経外科内） 長崎県南松浦郡新上五島町（長崎県上五島病院内） 長崎県島原市（長崎県島原病院内、柴田長庚堂病院内）	長崎県における医療人の育成及び定着の推進
長崎医療人育成室	長崎県長崎市（長崎記念病院内及び済生會長崎病院内、長崎みなとメディカルセンター内）	地域中核病院の医療人材不足の解消並びに人材育成事業の推進
救急・国際医療支援室	長崎県長崎市（長崎みなとメディカルセンター内）	長崎市内における安定した救急医療体制の整備及び医療人材の育成並びに安心できる医療環境の実現

国際交流推進室

名 称	所 在 地	設 置 目 的
長崎大学在ライデン国際交流推進室	オランダ王国ライデン市（シーボルトハウス財団内）	オランダにおける長崎大学の教育・研究及び文化交流の推進
長崎大学－済州大学校交流推進室	大韓民国済州市（済州大学校内）	済州大学校との共同研究及び学生交流の推進
長崎大学－上海海洋大学交流推進室	中華人民共和国上海市（上海海洋大学内）	上海海洋大学との共同研究及び学生交流の推進
長崎大学－国立台湾海洋大学交流推進室	台湾基隆市（国立台湾海洋大学内）	国立台湾海洋大学との共同研究及び学生交流の推進
長崎大学－カントー大学交流推進室	ベトナム社会主義共和国カントー市（カントー大学内）	カントー大学との共同研究及び学生交流の推進
長崎大学－フランス原子力防護評価研究所交流推進室	フランス共和国フォントネー＝オー＝ローズ市（フランス原子力防護評価研究所内）	フランス原子力防護評価研究所との共同研究の推進



特色ある教育・研究

特色ある教育

多様な新ニーズに対する「がん専門医療人材（がんプロフェSSIONナル）」養成プラン

取組名称	取組部局	取組期間
新ニーズに対応する九州がんプロ養成プラン (九州大学〈代表校〉, 長崎大学ほか8大学〈連携校〉)	医歯薬学総合研究科	平成29～ 令和3年度

大学の世界展開力強化事業

取組名称	取組部局	取組期間
プラネタリーヘルスの実現に向けた日ア戦略的共同教育プログラム	医歯薬学総合研究科, 熱帯医学・グローバルヘルス研究科, 水産・環境科学総合研究科, 工学研究科, 多文化社会学研究科, 医学部, 多文化社会学部, 水産学部, 環境科学部, 工学部, 留学生教育・支援センター	令和2～6年度
アジアの大学間連携による持続的社會基盤整備を支えるグローバル人材育成事業	工学研究科	令和3～7年度
持続可能なアジアの水産と海洋環境を実現する国際協働人材養成プログラム	水産・環境科学総合研究科, 水産学部, 環境科学部	令和3～7年度

卓越大学院プログラム

取組名称	取組部局	取組期間
世界を動かすグローバルヘルス人材育成プログラム	熱帯医学・グローバルヘルス研究科, 多文化社会学研究科, 工学研究科, 水産・環境科学総合研究科, 医歯薬学総合研究科, 教育学研究科, 経済学研究科	平成30～ 令和6年度
アジアユーラシア・グローバルリーダー養成のための臨床人文教育プログラム (千葉大学〈代表校〉, 長崎大学ほか10機関〈連携機関〉)	多文化社会学研究科	令和2～7年度

科学技術イノベーション創出に向けた大学フェロシップ創設事業

取組名称	取組部局	取組期間
グリーンサイエンスの研究拠点形成を志向した研究者育成事業	工学研究科	令和2～9年度

特色ある研究

■長崎大学STAR創出プログラム

採択年度	研究課題名	代表者名(部局)
令和3年度～	ストレスおよび腎交感神経刺激による腎保護メカニズム	井上 剛 (医歯薬学総合研究科)
	サイトカインストーム病を再分類し、最適な分子標的を解明する学際的研究	古賀 智裕 (医歯薬学総合研究科)
	Ex vivo臓器再生を基盤とした疾患研究・薬剤評価プラットフォームの開発	土谷 智史 (医歯薬学総合研究科)
	人新世におけるCollective Survival (連帯的生存)に向けて ～～グローバル巨大リスク管理に資するグローバル・ガバナンス論の構築～～	コンペル・ラドミール (多文化社会学部)
	貧酸素化する海と上手く付き合い、水産資源を保全する知の構造化と社会実装	和田 実 (水産・環境科学総合研究科)
	室温での厚膜磁石の光創製と未来型デバイス応用	中野 正基 (工学研究科)

■文部科学省科学技術人材育成費補助金

採択年度	プログラム名
平成27～令和2年度	ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ (特色型)
平成28～令和3年度	卓越研究員事業
令和1～令和3年度	ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ (先端型)



学生数等

学生数

学 部

2022.5.1 (人)

学 部	学 科 ・ 課 程	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	現 員						計
					1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	
多文化 社会学部	多文化社会学科	100	—	400	101	119	108	114	—	—	442
教育学部	学校教育教員養成課程	180	—	780	180	180	179	257	—	—	796
経済学 学部	総 合 経済学科	昼間コース	10	1,080	265	264	278	339	—	—	1,146
		夜間コース	5	250	62	60	65	102	—	—	289
	計	325	15	1,330	327	324	343	441	—	—	1,435
医 学 部	医 学 科	120	5	745	123	129	134	132	126	131	775
	保 健 学 科	106	10	444	108	107	120	91	—	—	426
	計	226	15	1,189	231	236	254	223	126	131	1,201
歯学部	歯 学 科	50	—	300	50	54	49	48	52	60	313
薬学部	薬 学 科	40	—	240	40	39	43	38	40	48	248
	薬 科 学 科	40	—	160	41	39	40	45	—	—	165
	計	80	—	400	81	78	83	83	40	48	413
隣学部	情報データ科学科	110	—	330	113	111	115	—	—	—	339
工学部	工 学 科	330	—	1,370	330	350	322	449	—	—	1,451
環境科学部	環 境 科 学 科	130	5	530	133	128	141	164	—	—	566
水産学部	水 産 学 科	110	—	440	119	112	110	122	—	—	463
合 計		1,641	35	7,069	1,665	1,692	1,704	1,901	218	239	7,419

大学院

2022.5.1 (人)

研究科	定員・現員		修士・博士前期課程					博士・博士後期課程						
	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	計	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	計
多文化社会学研究科	10	20	10	12	—	22	3	9	3	3	4	—	—	10
経済学研究科	15	30	11	17	—	28	3	9	2	2	9	—	—	13
工学研究科	220	440	231	204	—	435	20	70	21	13	24	1	4	63
水産・環境科学総合研究科	60	120	72	61	—	133	12	56	10	12	17	2	1	42
医歯薬学総合研究科	76	152	73	80	—	153	105	410	110	118	103	225	—	556
熱帯医学・グローバルヘルス研究科	37	62	38	41	—	79	10	30	11	10	17	—	—	38
計	418	824	435	415	—	850	153	584	157	158	174	228	5	722

研究科	定員・現員		専門職学位課程				
	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	計	
教育学研究科	28	56	27	21	5	53	
計	28	56	27	21	5	53	

研究生・科目等履修生等 (延べ人数)

2022.5.1 (人)

学部等	区分	研 究 生	科目等履修生	特別聴講学生	特別研究学生
多文化社会学部		5	1	9	
教育学部・教育学研究科		2	2		
経済学部・経済学研究科		1		4	
医学部					
歯学部					
薬学部		2			
情報データ科学部				1	
工学部		4	1		
環境科学部					
水産学部				4	
工学研究科		2			3
医歯薬学総合研究科		5			5
水産・環境科学総合研究科					1
多文化社会学研究科		3		1	7
熱帯医学・グローバルヘルス研究科		3			
留学生教育・支援センター				45	
計		27	4	64	16

令和4年度入学者状況

学 部

2022.5.1 (人)

学 部	区 分	入 学 定 員	入 学 志 願 者	入 学 者
多文化社会学部		100	265 ※5	99 ※2
教育学部		180	409	180
経済学部	昼間コース	265	745 ※9	262 ※3
	夜間メインコース	60	151	62
医学部		226	771	226
歯学部		50	261	50
薬学部		80	518	81
情報データ科学部		100 ※10	363 ※18	106 ※7
工学部		330	1,021 ※3	329 ※1
環境科学部		122 ※8	388 ※10	130 ※3
水産学部		110	363 ※10	119
計		1,623 ※18	5,255 ※55	1,644 ※16

※は外国人留学生で外数

出身高校による入学者（外国人留学生を除く）の地域別区分

2022.5.1 (人)

学部	区 分	長 崎 県	九州地区 (長崎県を除く)	中国 四国地区	近畿地区	中部地区	関東地区	東北 北海道地区	外国・ 大検等	計
多文化社会学部		16	50	9	4	5	9	5	1	99
教育学部		121	41	5	1	5	6	1	0	180
経済学部		109	182	11	16	0	1	4	1	324
医学部		104	71	13	18	5	10	5	0	226
歯学部		7	11	7	12	5	6	2	0	50
薬学部		17	41	10	5	2	5	1	0	81
情報データ科学部		48	49	5	1	2	1	0	0	106
工学部		116	164	20	12	5	8	1	3	329
環境科学部		61	49	7	3	3	6	1	0	130
水産学部		11	29	18	16	17	20	6	2	119
計		610	687	105	88	49	72	26	7	1,644

大学院

2022.5.1 (人)

研究科	区 分	入 学 定 員	春 季 入 学 志 願 者	春 季 入 学 者 (令和4年4月)	(※参考) 秋 季 入 学 者 (令和3年10月)
多文化社会学研究科	博士前期	10	6 ※8	4 ※6	—
	博士後期	3	4 ※4	1 ※2	—
教育学研究科	専門職学位	28	36	27	—
経済学研究科	博士前期	15	2 ※17	11	—
	博士後期	3	2	2	—
工学研究科	博士前期	220	239 ※26	206 ※17	1 ※7
	博士後期	15	1 ※7	1 ※7	4 ※4
	博士(5年一貫制)	5	5	5	—
水産・環境科学総合研究科	博士前期	60	13 ※11	53 ※10	2 ※7
	博士後期	12	4 ※2	4 ※2	0 ※4
医歯薬学総合研究科	修 士	40	47 ※2	31 ※2	1 ※6
	博 士	95	75 ※11	73 ※11	12 ※9
	博士前期	36	40	32	1
	博士後期	10	4	4	0 ※1
熱帯医学・グローバルヘルス研究科	博士前期	37	—	—	20 ※18
	博士後期	10	—	—	10 ※1
計		599	478 ※88	454 ※57	51 ※57

※は外国人留学生で外数

令和3年度卒業生(修了者)及び進路状況

学部卒業生

(人)

学 部	令和3年度	累 計
多文化社会学部	107	417
教 育 学 部	235	19,037
経済学部	昼間コース	268
	夜間主コース	56
医 学 部	225	8,877
歯 学 部	45	2,133
薬 学 部	82	4,905
工 学 部	387	17,329
環 境 科 学 部	136	2,973
水 産 学 部	121	6,543
合 計	1,662	81,378

大学院修了者

2022.3.31 (人)

大 学 院	令和3年度	累 計
多文化社会学研究科	13	27
教育学研究科	25	897
経済学研究科	10	352
工学研究科	216	2,227
水産・環境科学総合研究科	46	591
医歯薬学総合研究科	171	2,707
熱帯医学・グローバルヘルス研究科	34	159
医 学 研 究 科		1,294
歯 学 研 究 科		149
薬 学 研 究 科		924
工 学 研 究 科		1,758
環 境 科 学 研 究 科		46
水 産 学 研 究 科		616
海 洋 生 産 科 学 研 究 科		245
生 産 科 学 研 究 科		2,881
国 際 健 康 開 発 研 究 科		72
合 計	515	14,945

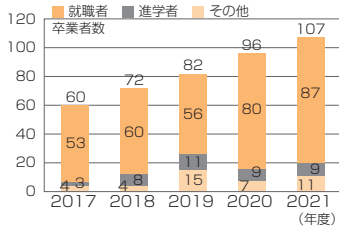
進路状況

2022.5.1 (人)

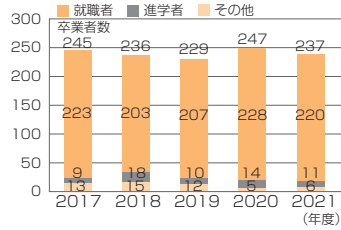
進路	学部	教化社会学部	教育学部	経済学部	医学部保健科	薬学部	工学部	環境科学部	水産学部	合 計
卒 業 者 数		107	235	268	105	82	387	136	121	1,441
就 職 希 望 者 数		89	221	254	84	42	149	110	60	1,009
就 職 者 数		87	220	239	83	42	143	106	58	978
就 職 率		97.8%	99.5%	94.1%	98.8%	100.0%	96.0%	96.4%	96.7%	96.9%
農 林 漁 業		0	0	0	0	0	0	1	3	4
建 設 業		3	1	17	0	0	20	5	0	46
製 造 業		18	1	18	0	6	42	12	10	107
電 気・ガ 斯・熱供給・水道業		2	0	3	0	0	3	1	1	10
情 報 通 信、運 輸 業、郵 便 業		8	2	21	0	0	25	10	4	70
卸 売 業・小 売 業		9	7	27	0	18	2	9	14	86
金 融 業・保 険 業		6	2	48	0	0	0	7	1	64
不 動 産 業、物 品 賃 貸 業		2	0	6	0	0	3	2	0	13
学 術 研 究、専 門・技 術 サ ー ビ ス		6	0	18	0	2	10	8	4	48
宿 泊 業、飲 食 サ ー ビ ス 業		2	2	4	0	1	0	0	4	13
生 活 関 連 サ ー ビ ス 業、娯 楽 業		1	4	1	0	0	1	0	1	8
教 育、学 習 支 援 事 業		10	161	4	0	0	3	2	1	181
医 療、福 祉		2	23	3	82	12	0	3	0	125
複 合 サ ー ビ ス 事 業		1	0	0	0	0	0	0	0	1
サ ー ビ ス(他 に 分 類 さ れ な い)		4	5	17	0	0	2	13	2	43
公 務		9	11	52	1	3	32	33	12	153
分 類 不 能		4	1	0	0	0	0	0	1	6
進 学 者 数		9	11	5	20	37	233	22	61	398
そ の 他		11	4	24	2	3	11	8	2	65

過去5年間の進路状況の推移

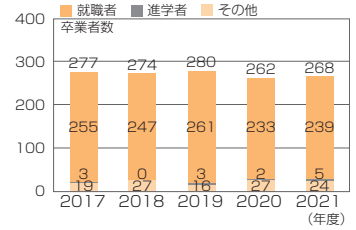
多文化社会学部



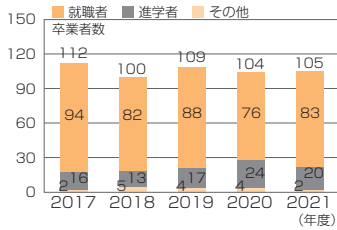
教育学部



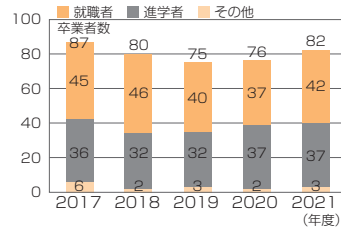
経済学部



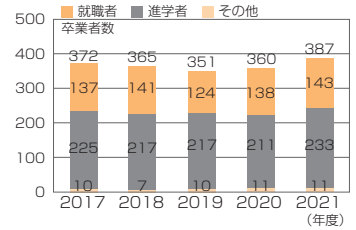
医学部保健学科



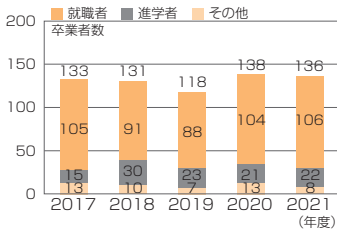
薬学部



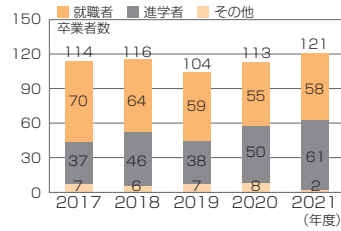
工学部



環境科学部



水産学部



学位授与数

2022. 3. 31 (人)

博士の種類	課程修了		論文		旧制授与数
	令和3年度	累計	令和3年度	累計	
学術	2	218	1	31	
経営学	2	32			
医学	96	2,368	1	1,847	1,347
歯学	12	361		100	
薬学	2	185		37	
薬科学	3	43			
臨床薬学		13			
工学	14	411	1	60	
水産学	3	95	1	22	
環境科学	1	38		6	
海洋科学	1	10		2	
グローバルヘルス	3	3			
合計	139	3,777	4	2,105	1,347

(人)

修士の種類	令和3年度	累計
学術	14	115
教育学		584
経済学	3	159
経営学	5	161
熱帯医学	4	139
看護学	11	152
理学療法	6	90
作業療法	4	55
薬学		1,096
薬科学	29	363
臨床薬学		209
工学	202	5,862
水産学	20	1,219
環境科学	18	436
公衆衛生学	22	162
医科学	13	60
海洋科学		1
合計	351	10,863

修士の種類	令和3年度	累計
教職修士 (専門職)	25	313



国際交流

令和4年度外国人留学生

部局別内訳

2022.5.1 (人)

学部等	区分				学部等	区分			
	学部学生	大学院生	研究生等	計		学部学生	大学院生	研究生等	計
多文化社会学部	8 (1)		15 (1)	23 (2)	水産学部	5		4	9
教育学部	2			2	多文化社会学研究科		17 (1)	7	24 (1)
経済学部	22		5	27	教育学研究科			2 (2)	2 (2)
医学部				0	経済学研究科		20		20
歯学部				0	工学研究科		64 (7)	5 (2)	69 (9)
薬学部			2	2	水産・環境科学総合研究科		52(10)	1	53(10)
情報データ科学部	22		1	23	医歯薬学総合研究科		93(20)	3	96(20)
工学部	19		3	22	獣医学・グローバルヘルス研究科		38 (7)	3 (2)	41 (9)
環境科学部	20			20	留学生教育・支援センター			48 (3)	48 (3)
					計	98 (1)	284(45)	99(10)	481(56)

() は国費留学生を内数で示す。

国・地域別内訳

(人)

国・地域名	区分				国・地域名	区分			
	学部学生	大学院生	研究生等	計		学部学生	大学院生	研究生等	計
エジプト・アラブ共和国		4		4	ベラルーシ共和国		7 (6)		7 (6)
オーストラリア連邦		1		1	コスタリカ共和国		1		1
コンゴ民主共和国		9 (3)		9 (3)	ガーナ共和国		8	1 (1)	9 (1)
エチオピア連邦民主共和国		1 (1)		1 (1)	インドネシア共和国		3 (3)	1	4 (3)
ナイジェリア連邦共和国		5	1 (1)	6 (1)	カザフスタン共和国		10		10
ブラジル連邦共和国		1		1	ケニア共和国		6	2	8
フランス共和国			1	1	大韓民国	33	5	7 (2)	45 (2)
インド		2		2	マダガスカル共和国		2		2
イラン・イスラム共和国		1		1	パラグアイ共和国			1 (1)	1 (1)
パキスタン・イスラム共和国		1 (1)		1 (1)	南アフリカ共和国		1 (1)		1 (1)
イタリア共和国			6	6	フィリピン共和国		6 (1)		6 (1)
バーレーン王国		1 (1)		1 (1)	ミャンマー連邦共和国		11 (5)	2 (2)	13 (7)
ベルギー王国			2	2	ザンビア共和国		2 (1)		2 (1)
ブータン王国		1		1	ジンバブエ共和国		1		1
カンボジア王国		4		4	セネガル共和国		1		1
スウェーデン王国	1 (1)			1 (1)	ロシア連邦		1		1
タイ王国		5 (2)	1	6 (2)	ベトナム社会主義共和国		21 (8)		21 (8)
オランダ王国			16 (1)	16 (1)	シリア・アラブ共和国		4 (4)		4 (4)
ラオス人民民主共和国		5 (1)	1 (1)	6 (2)	台湾	1	3	10	14
マレーシア	8	4 (2)	1 (1)	13 (3)	英国 <small>グレートブリテン及び北アイルランド連合王国</small>			4	4
モンゴル国		2		2	アメリカ合衆国		1		1
ハンガリー人民共和国		7 (5)		7 (5)	総計	98 (1)	284(45)	99 (10)	481(56)
中華人民共和国	55	136	42	233					

() は国費留学生を内数で示す。国名はアルファベット順。

海外の大学等との学術交流協定締結状況

2022. 5. 1

	相手国等	相手機関	長崎大学の主管（締結）部局※	締結年
1	中華人民共和国	福建省疾病预防控制中心	医歯薬学総合研究科	2008
2		復旦大学	医歯薬学総合研究科	2009
3		福州大学	工学研究科	1992
4		中国海洋大学	水産・環境科学総合研究科	1997
5		中国薬科大学	医歯薬学総合研究科	1998
6		福建医科大学	医歯薬学総合研究科	2001
7		同济大学	工学研究科	2001
8		大連海洋大学	水産・環境科学総合研究科	2003
9		第四軍医大学	医歯薬学総合研究科	2003
10		香港浸會大学	多文化社会学部	2014
11		北京師範大学	教育学部	2004
12		上海財経大学	経済学部	2013
13		中南大学	医歯薬学総合研究科	2006
14		東北師範大学	教育学部	2007
15		上海海洋大学	水産・環境科学総合研究科	2007
16		上海師範大学	教育学部	2007
17		華東師範大学	多文化社会学部	2007
18		集美大学	水産・環境科学総合研究科	2007
19		天津科技大学	留学生教育・支援センター	2007
20		吉林大学	多文化社会学部	2008
21		江蘇省血吸虫病防治研究所	熱帯医学研究所	2010
22		中国医科大学	熱帯医学研究所	2010
23		山東大学	工学研究科	2010
24		山東科技大学	工学研究科	2010
25		浙江海洋大学	水産・環境科学総合研究科	2011
26		西南財経大学	経済学部	2012
27		揚州大学	水産・環境科学総合研究科	2014
28		香港教育大学人文学院及び博文及社会科学学院	（多文化社会学部）	2015
29		大連医科大学口腔病学部	（歯学部・医歯薬学総合研究科）	2016
30		南昌大学	医歯薬学総合研究科	2016
31		上海交通大学医学院	（医学部・歯学部）	2016
32		上海外国語大学	経済学部	2016
33		西北大学	多文化社会学部	2017
34		陝西師範大学	多文化社会学部	2017
35		華南理工大學	医歯薬学総合研究科	2018
36		天津師範大学	多文化社会学部	2018

※（ ）は部局間協定

	相手国等	相手機関	長崎大学の主管（締結）部局※	締結年
37	中華人民共和国	北京外国語大学	多文化社会学部	2018
38		大連理工大学	工学研究科	2018
39		中国社会科学院大学	多文化社会学部	2019
40		広東外語外貿大学	経済学部	2019
41		青島大学	医歯薬学総合研究科	2019
42		上海理工大学	水産・環境科学総合研究科	2020
43		蘇州科技大学建築与城市規劃学院	(水産・環境科学総合研究科)	2020
44		新疆医科大学	(医学部・医歯薬学総合研究科)	2022
45	台湾	国立陽明交通大学	医歯薬学総合研究科	2002
46		淡江大学	水産・環境科学総合研究科	2004
47		国立台湾海洋大学	水産・環境科学総合研究科	2005
48		高雄医学大学	医歯薬学総合研究科	2006
49		国立政治大学	多文化社会学部	2009
50		国立台湾大学	多文化社会学部	2010
51		国立台湾師範大学	多文化社会学部	2012
52		行政院農業委員会水産試験所	水産・環境科学総合研究科	2012
53		台北医学大学	医歯薬学総合研究科	2013
54		成功大学	多文化社会学部	2015
55		国立東華大学	経済学部	2016
56		国立高雄大学	留学生教育・支援センター	2016
57		国立高雄科技大学	水産・環境科学総合研究科	2018
58		亞洲大学	多文化社会学部	2017
59		台北荣民総医院	医歯薬学総合研究科	2017
60		国立海洋科技博物館	水産・環境科学総合研究科	2018
61		国立嘉義大学	水産・環境科学総合研究科	2018
62	国立中興大学	水産・環境科学総合研究科	2019	
63	三軍総医院	医歯薬学総合研究科	2019	
64	中国文化大学	多文化社会学部	2019	
65	国防医学院	医歯薬学総合研究科	2020	
66	大韓民国	濟州大学校	工学研究科	1988
67		釜慶大学校	水産・環境科学総合研究科	1988
68		江原大学校	工学研究科	2002
69		晋州保健大学校	医歯薬学総合研究科	2002
70		昌原大学校	教育学部	2002
71		全南大学校	水産・環境科学総合研究科	2002
72		仁荷大学校	留学生教育・支援センター	2003
73		漢陽大学校	教育学部	2003
74	韓国海洋科学技術院	水産・環境科学総合研究科	2004	

※（ ）は部局間協定

	相手国等	相手機関	長崎大学の主管（締結）部局※	締結年
75	大韓民国	慶北大学校	教育学部	2004
76		成均館大学校	工学研究科	2006
77		慶熙大学校	留学生教育・支援センター	2006
78		ハーリム大学校	医歯薬学総合研究科	2007
79		ソウル大学校	医歯薬学総合研究科	2007
80		国立釜山大学校	医歯薬学総合研究科	2007
81		嶺南大学校	工学研究科	2008
82		新羅大学校	教育学部	2008
83		全北大学校	工学研究科	2010
84		中央大学校	経済学部	2012
85		韓信大学校	核兵器廃絶研究センター	2013
86		慶尚大学校	医学部	2013
87		釜山カトリック大学校	医歯薬学総合研究科	2014
88		東国大学校	多文化社会学部	2014
89		亜洲大学校	多文化社会学部	2014
90		韓国原子力医学院	医歯薬学総合研究科	2017
91		忠南大学校	原爆後障害医療研究所	2018
92	モンゴル国	モンゴル国立医療科学大学	医歯薬学総合研究科	2008
93	タイ王国	チェンマイ大学	熱帯医学研究所	1990
94		チュラロンコン大学	医歯薬学総合研究科	2009
95		マヒドン大学	熱帯医学研究所	1999
96		タマサート大学	熱帯医学研究所	2006
97		タイ王国保健省医科学局	医歯薬学総合研究科	2006
98		カセサート大学経済学部	(多文化社会学部)	2014
99		泰日工業大学	グローバル連携機構	2018
100	インドネシア共和国	サムラトランギ大学	水産・環境科学総合研究科	1993
101		アイルランガ大学	熱帯医学研究所	2004
102		ブラウィジャヤ大学	水産・環境科学総合研究科	2008
103		インドネシア大学	水産・環境科学総合研究科	2015
104	シンガポール共和国	シンガポール国立大学医学部	(医学部、医歯薬学総合研究科)	2020
105	マレーシア	マレーシア科学大学	水産・環境科学総合研究科	1995
106		テイラーズ大学	多文化社会学部	2015
107		マレーシア・サバ大学	熱帯医学・グローバルヘルス研究科	2017
108		マレーシアトレンガヌ大学	水産・環境科学総合研究科	2017
109		マラヤ大学	医歯薬学総合研究科	2019
110		マレーシア国民大学	熱帯医学・グローバルヘルス研究科	2019
111	ブルネイ・ダルサラーム国	ブルネイ・ダルサラーム大学	多文化社会学部	2015
112	フィリピン共和国	フィリピン大学ディリマン校	多文化社会学部	2001

※（ ）は部局間協定

	相手国等	相手機関	長崎大学の主管（締結）部局※	締結年
113	フィリピン共和国	セントルークス医療センター	熱帯医学研究所	2004
114		サンラザロ病院	熱帯医学研究所	2004
115		イースト大学	医歯薬学総合研究科	2005
116		フィリピン大学ピサヤ校	水産・環境科学総合研究科	2010
117		フィリピン大学マニラ校	熱帯医学・グローバルヘルス研究科	2014
118		アテネオ・デ・マニラ大学	多文化社会学部	2015
119		フィリピン大学ロスバニョス校	経済学部	2017
120		株式会社健康改善同盟(AIHO)	(熱帯医学・グローバルヘルス研究科)	2021
121	ベトナム 社会主義共和国	国立衛生疫学研究所	熱帯医学研究所	2001
122		カントー大学	水産・環境科学総合研究科	2012
123		ベトナム国家大学ホーチミン市校工科大学	工学研究科	2018
124		ハノイ医科大学	医歯薬学総合研究科	2019
125		ベトナム国家土木大学	工学研究科	2020
126		ベトナム国家大学ホーチミン市校自然科学大学環境学部	(工学研究科)	2022
127	ミャンマー連邦共和国	ミャンマー国保健省医管理局・医学研究局	医歯薬学総合研究科	2007
128		マンダレー工科大学	工学研究科	2015
129		ヤンゴン工科大学	工学研究科	2015
130		パテイン大学	水産・環境科学総合研究科	2016
131	カンボジア王国	クラチエ大学	水産・環境科学総合研究科	2019
132	バングラデシュ 人民共和国	BRAC大学	熱帯医学・グローバルヘルス研究科	2008
133		イスラム大学	医歯薬学総合研究科	2015
134	インド	インド情報・設計・生産技術大学カンチープラム校	情報データ科学部	2018
135		インド工科大学カラグプル校	情報データ科学部	2019
136		インドラプラスサ情報工科大学デリー校	(情報データ科学部)	2022
137	ラオス人民共和国	ラオス熱帯公衆衛生研究所	(熱帯医学・グローバルヘルス研究科)	2022
138	パキスタン・イスラム共和国	ノース・サウス大学健康生命科学部	(医学部・医歯薬学総合研究科)	2021
139	オーストラリア連邦	エディスコーワン大学	多文化社会学部	2012
140		サンシャインコースト大学	多文化社会学部	2014
141		サザンクロス大学	多文化社会学部	2014
142		ウエスタンシドニー大学	多文化社会学部	2015
143		ディーキン大学	水産・環境科学総合研究科	2015
144	アメリカ合衆国	サウス・カロライナ大学	水産・環境科学総合研究科	1992
145		ミシガン州立大学	医歯薬学総合研究科	2007
146		ハワイ大学マノア校	水産・環境科学総合研究科	2007
147		ミネソタ州立大学マンケイト校	言語教育研究センター	2011
148		モンタナ大学	医学部	2013
149		カリフォルニア州立大学モントレーベイ校	多文化社会学部	2014
150		ベネディクティン大学（イリノイ州）	多文化社会学部	2014

※（ ）は部局間協定

	相手国等	相手機関	長崎大学の主管（締結）部局※	締結年
151	アメリカ合衆国	ノーザン州立大学	多文化社会学部	2014
152		アーカンソー工科大学	多文化社会学部	2014
153		ペンシルベニア州立インディアナ大学	多文化社会学部	2015
154		ノースイースタン・イリノイ大学	多文化社会学部	2015
155		フロストバーグ州立大学	多文化社会学部	2015
156		ノースカロライナ州立大学	医歯薬学総合研究科	2016
157		デラウェア大学	言語教育研究センター	2017
158		モラヴィアン・カレッジ	多文化社会学部	2018
159		カリフォルニア大学バークレイ校	水産・環境科学総合研究科	2018
160		カリフォルニア大学ロサンゼルス校	医歯薬学総合研究科	2018
161		ニューメキシコ大学薬学部	(薬学部)	2020
162		北アリゾナ大学	言語教育研究センター	2020
163	カナダ	ニューファンドランドメモリアル大学	多文化社会学部	2014
164		ウィニペグ大学	多文化社会学部	2014
165		カルガリー大学	多文化社会学部	2015
166		レスブリッジ大学	多文化社会学部	2015
167	メキシコ合衆国	メキシコ西部工科大学	多文化社会学部	2018
168	ペルー共和国	サン・マルティン・デ・ポレス大学	医歯薬学総合研究科	2016
169	イタリア共和国	トリノ工科大学	工学研究科	1997
170		ナポリ大学フェデリコⅡ	工学研究科	1998
171		トレント大学	医歯薬学総合研究科	2014
172		カ・フォスカリ大学	経済学部	2014
173		ルイジ・ヴァンヴィテッリ・カンパニア州大学	医歯薬学総合研究科	2016
174		マルケ工科大学	工学研究科	2020
175		ロンドン大学衛生熱帯医学大学院	熱帯医学・グローバルヘルス研究科	2013
176	ヘリオットワット大学	工学研究科	2014	
177	エディンバラ大学	工学研究科	2014	
178	オックスフォード・ブルックス大学	多文化社会学部	2015	
179	英国 (グレートブリテン及び 北アイルランド連合王国)	アバディーン大学	多文化社会学部	2015
180		マンチェスター・メトロポリタン大学	多文化社会学部	2015
181		キール大学	多文化社会学部	2015
182		スターリング大学	水産・環境科学総合研究科	2016
183		ポーツマス大学	経済学部	2017
184		ランカスター大学	水産・環境科学総合研究科	2018
185		ヴェルツブルク大学	医歯薬学総合研究科	2006
186	ドイツ連邦共和国	ヨハネス・グーテンベルク・マインツ大学	医歯薬学総合研究科	2010
187		ライプニッツ予防研究・疫学研究所	原爆後障害医療研究所	2014
188		ゲオルク・ジモン・オーム大学ニルンベルク	多文化社会学部	2015

※（ ）は部局間協定

	相手国等	相手機関	長崎大学の主管（締結）部局※	締結年
189	ドイツ連邦共和国	ハインリッヒ・ハイネ大学	医歯薬学総合研究科	2017
190		ドルトムント工科大学化学・化学生物学部	（工学研究科）	2018
191		フィリップ大学マールブルク	工学研究科	2019
192	オランダ王国	ライデン大学	医歯薬学総合研究科、多文化社会学部	1998
193		ラドバウト大学	多文化社会学部	2016
194		デルフト工科大学機械・海洋・材料工学部	（工学研究科）	2016
195	ベルギー王国	アントワープ熱帯医学研究所	熱帯医学・グローバルヘルス研究科	2013
196		ゲント大学人文哲学部及び生物工学部	経済学部、水産・環境科学総合研究科	2015
197		モンス大学	多文化社会学部	2015
198		ルーヴェン・カトリック大学文学部	（多文化社会学部）	2016
199	フランス共和国	オートアルガス大学ミュールズ国立高等学院	医歯薬学総合研究科	2005
200		ギメ東洋美術館	（附属図書館）	2012
201		ヨーロッパ・ビジネス・スクール パリ校	経済学部	2013
202		アンジェ大学	医歯薬学総合研究科	2013
203		パリ東＝クレティユ大学	多文化社会学部	2015
204		フランス原子力防護評価研究所	医歯薬学総合研究科	2016
205		ISCビジネススクールパリ校	経済学部	2017
206		ナント大学	医学部	2018
207		放射線防護・原子力安全研究所	医歯薬学総合研究科	2018
208		ブルゴーニュ大学	多文化社会学部	2018
209	スペイン王国	ポンティフィシア・コミージャス大学	工学研究科	2013
210		マラガ大学	多文化社会学部	2015
211		セビリア大学	多文化社会学部	2019
212		バルセロナ国際保健財団研究所	（熱帯医学研究所）	2020
213	スペイン国立研究協議会	（熱帯医学・グローバルヘルス研究科）	2021	
214	ポルトガル共和国	ポルト大学	医歯薬学総合研究科	2010
215		新リスボン大学	多文化社会学部	2018
216	スウェーデン王国	ルンド大学工学部	（水産・環境科学総合研究科）	2015
217	ノルウェー王国	ノルウェー科学技術大学	水産・環境科学総合研究科	2006
218	ポーランド共和国	ワルシャワ経済大学	（経済学部）	2016
219	クロアチア	ザグレブ大学	グローバル連携機構	2018
220	ルーマニア	ブカレスト工科大学	工学研究科	2016
221	北マケドニア共和国	聖シリル・メソディウス大学	経済学部	2018
222	ベラルーシ共和国	国立ベラルーシ医科大学	医歯薬学総合研究科	2001
223		ゴメリ医科大学	医歯薬学総合研究科	2002
224		ベラルーシ卒後教育医学アカデミー	医歯薬学総合研究科	2008
225	カザフスタン共和国	セメイ医科大学	医歯薬学総合研究科	1998
226		カザフスタン放射線医学環境研究所	原爆後障害医療研究所	2002

※（ ）は部局間協定

	相手国等	相手機関	長崎大学の主管（締結）部局※	締結年
227		アスフェンディヤーロフ・カザフ国立医科大学	医歯薬学総合研究科	2009
228	カザフスタン共和国	シズガノフ国立外科科学センター	医歯薬学総合研究科	2012
229		セメイ市核医療・腫瘍センター	原爆後障害医療研究所	2018
230		国立ウクライナ医学アカデミー V.P.コミサレンコ内分泌代謝研究所	原爆後障害医療研究所	2003
231	ウクライナ	国立ウクライナ医学アカデミー放射線医学研究所	原爆後障害医療研究所	2003
232		ウクライナ放射線防護研究所	原爆後障害医療研究所	2012
233		コロステン市・州立広域診断センター	医歯薬学総合研究科	2017
234		ロシア連邦保健省国立医学研究放射線センター附属 ツィープ医学放射線研究センター	医歯薬学総合研究科	2002
235	ロシア連邦	国立メーチニコフ北西医科大学	医歯薬学総合研究科	2008
236		ロシア連邦保健省内分泌研究センター	医歯薬学総合研究科	2016
237	キルギス共和国	キルギス国立医学アカデミー	医歯薬学総合研究科	2022
238		ケニヤッタ大学	医歯薬学総合研究科	2004
239		ケニア中央医学研究所	熱帯医学研究所	2004
240		ケニア国立海洋水産研究所	水産・環境科学総合研究科	2011
241	ケニア共和国	モイ大学	工学研究科	2012
242		マセノ大学	熱帯医学研究所	2013
243		ジョモケニヤッタ農工大学	医歯薬学総合研究科	2021
244		ケニヤッタ国立病院	医学部	2022
245	南アフリカ共和国	南アフリカ国立感染症研究所	熱帯医学研究所	2010
246	タンザニア連合共和国	ムヒンビリ健康科学大学	医歯薬学総合研究科	2011
247		ザンジバル州立大学	多文化社会学部	2018
248	ザンビア共和国	ザンビア大学	医歯薬学総合研究科	2016
249	コンゴ民主共和国	キンシャサ大学	熱帯医学・グローバルヘルス研究科	2016
250	ナイジェリア連邦共和国	ナイジェリア大学	熱帯医学研究所	2016
251		アフマド・ベロ大学	熱帯医学・グローバルヘルス研究科	2019
252	エジプト・アラブ共和国	エジプト日本科学技術大学	熱帯医学研究所	2016
253	セーシェル共和国	セーシェル大学	経済学部	2016
254	スーダン共和国	ハルツーム大学	熱帯医学研究所	2022
255	アラブ首長国連邦	アラブ首長国連邦大学医学健康科学部	（医学部・医歯薬学総合研究科）	2015
256	イラン・イスラム共和国	テヘラン医科大学	医歯薬学総合研究科	2015
257	トルコ共和国	マルマラ大学	医歯薬学総合研究科	2021
258	イラク共和国	スレイマニ工科大学	多文化社会学部	2021

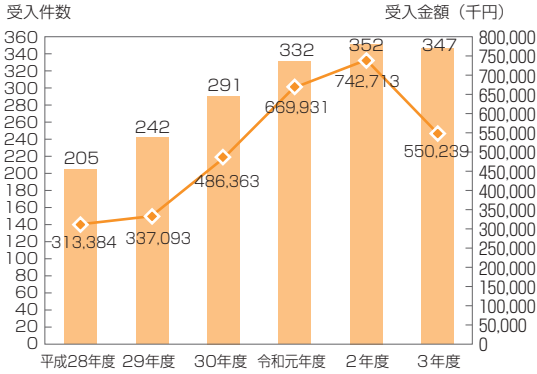
※（ ）は部局間協定



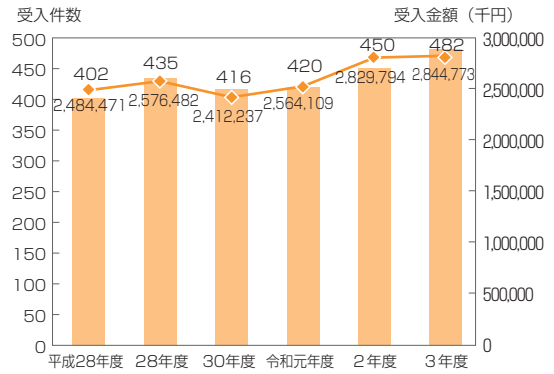
社会貢献

産学連携

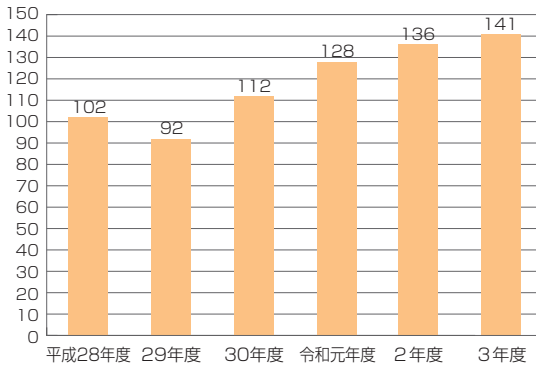
共同研究



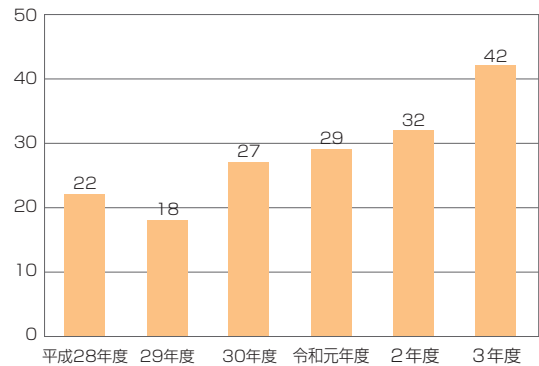
受託研究



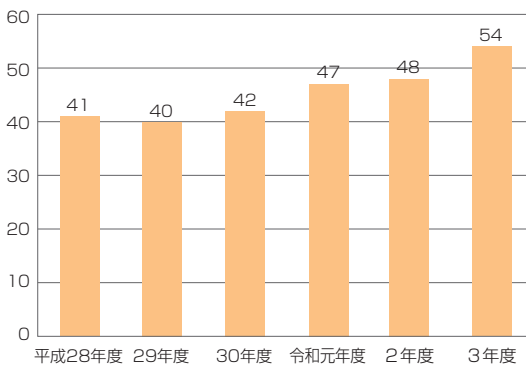
知財相談・発明届件数



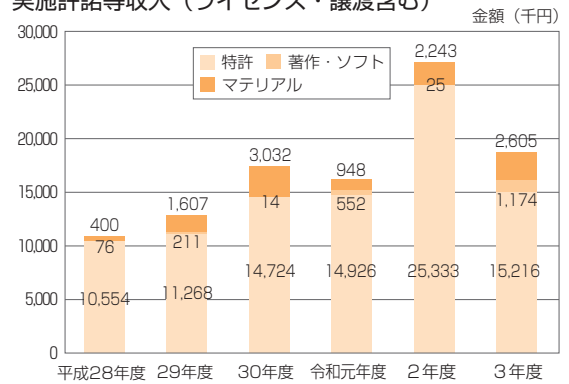
特許出願件数(国内)



実施許諾権利数



実施許諾等収入 (ライセンス・譲渡含む)

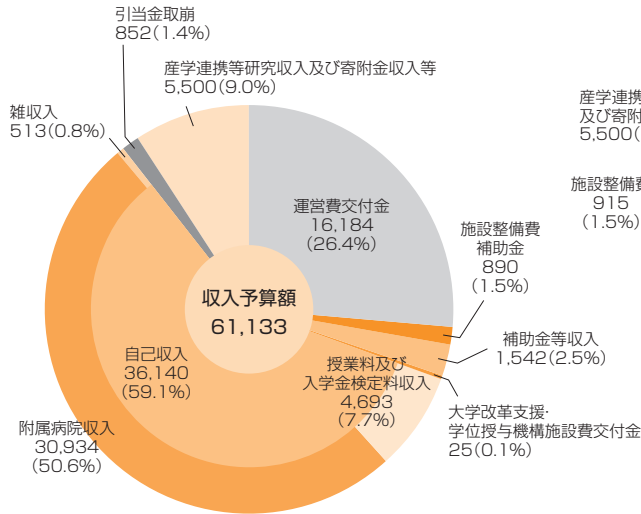




財政

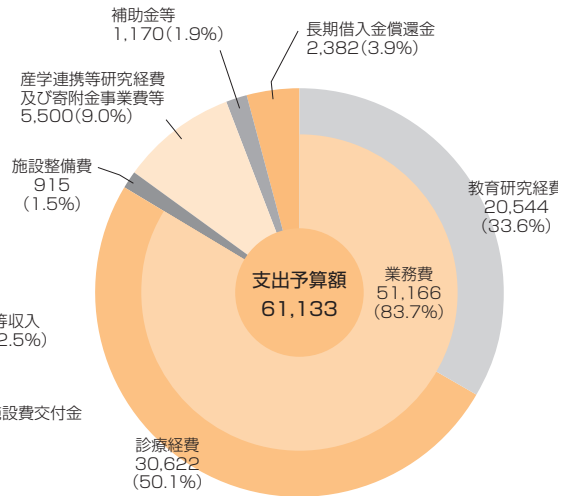
令和4年度予算額

(収入)



(単位:百万円)

(支出)



(単位:百万円)

外部資金等

科学研究費助成事業

2022.5

研究種目	内定件数	予定額 (千円)
新学術領域研究	3	5,900
学術変革領域研究 (A)	4	60,300
学術変革領域研究 (B)	0	0
基盤研究 (S)	1	29,500
基盤研究 (A)	7	64,700
基盤研究 (B)	84	334,600
基盤研究 (C)	340	337,000
挑戦的研究 (開拓)	3	16,200
挑戦的研究 (萌芽)	27	52,800
若手研究	144	147,800
若手研究 (A)	0	0
若手研究 (B)	0	0
国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化 (B))	15	55,200
特別研究促進費	0	0
研究成果公開促進費	2	2,200
研究活動スタート支援	30	33,900
特別研究員奨励費	8	7,000
合計	668	1,147,100

配分予定額は直接経費のみを示している。

寄附金

令和3年度

件数	金額 (千円)
6,323	1,183,870

受託研究経費

令和3年度

件数	金額 (千円)
482	2,844,773

民間等との共同研究

令和3年度

件数	金額 (千円)
347	550,239



キャンパス

文教キャンパス

- 多文化社会学部
- 教育学部
- 薬学部
- 情報データ科学部
- 工学部
- 環境科学部
- 水産学部

- 11 生協食堂
- 12 大学教育イノベーションセンター
- 13 障がい学生支援室
- 14 長崎創楽堂
- 15 A&T Lab 爽創館
- 16 附属図書館(中央図書館)
- 17 放送大学長崎学習センター
- 18 ICT基盤センター

- 19 核兵器廃絶研究センター(RECNA)
- 20 保健センター
- 21 事務局
- 22 アドミッションセンター
- 23 文教おもやい保育園
- 24 中部講堂
- 25 サイエンス&テクノラボ棟
- 26 FFGアントレプレナーシップセンター
- 27 研究開発推進機構
- 28 先端創業イノベーションセンター
- 29 総合教育研究棟
- 30 ダイバーシティ推進センター
- 31 環境保全センター
- 32 葉國璽交流会館

- 1 下村脩名誉博士顕彰記念館
- 2 環境安全支援室棟
- 3 附属薬用植物園
- 4 言語教育研究センター
- 5 グローバル教育・学生支援棟
- 6 学生プラザ
- 7 学生交流プラザ
- 8 キャリアセンター
- 9 学生会館
- 10 生協文教店



坂本キャンパス ①

医学部（医学科）
 熱帯医学研究所
 原爆後障害医療研究所
 熱帯医学・グローバルヘルス研究科
 高度感染症研究センター

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| ① グローバルヘルス総合研究棟 | ⑪ 生協食堂 |
| ② 長崎大学医学ミュージアム | ⑫ 第1講義実習棟 |
| ③ ギビローニングセンター | ⑬ ヒューマンカウンター |
| ④ ギビロが丘 | ⑭ 先端ゲノム研究センター |
| ⑤ ボンペ会館 | ⑮ 放射線総合センター |
| ⑥ 附属図書館医学分館 | ⑯ バイオメディカルモデル動物研究センター |
| ⑦ 記念講堂 | ⑰ 第2講義実習棟 |
| ⑧ ゲストハウス | |
| ⑨ 良順会館 | |
| ⑩ レジデンシー精得館 | |



坂本キャンパス ②

医学部（保健学科）
 歯学部
 薬学部
 大学病院

- ① 福利厚生施設
- ② 医歯薬学総合教育研究棟
- ③ MR(磁気共鳴)検査棟
- ④ 歯学部教育研究棟
- ⑤ 国際医療センター
- ⑥ 特殊災害・新興感染症トリアージユニット棟
- ⑦ 高エネルギー治療棟
- ⑧ 被ばく医療総合研修センター
- ⑨ 中央診療棟
- ⑩ 病棟・診療棟
- ⑪ 臨床講義棟



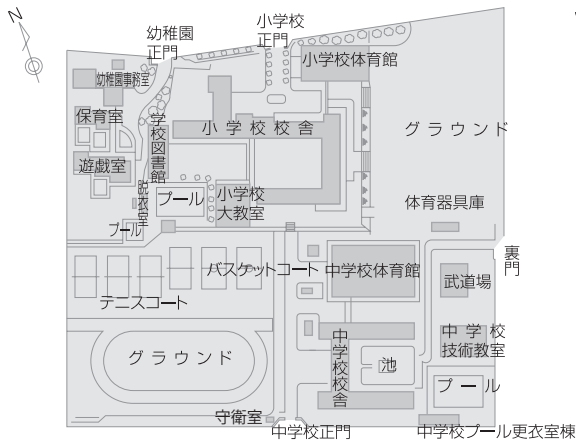
片淵キャンパス

経済学部

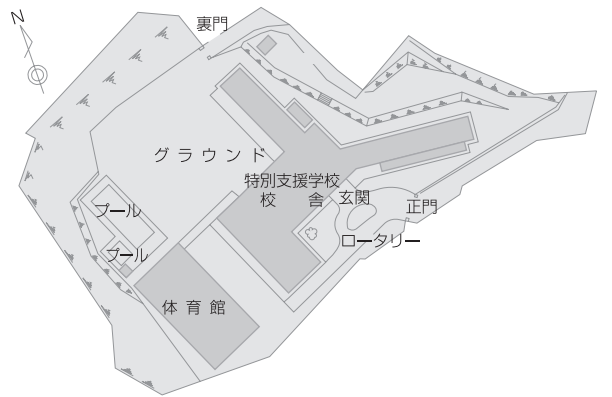


- ① 瓊林会館
- ② 講堂
- ③ 拱橋
- ④ 附属図書館経済学部分館
- ⑤ 煉瓦倉庫
- ⑥ 扶搖会館(生協売店・食堂)
- ⑦ 東南アジア研究所

附属学校 (幼稚園・小学校・中学校)



附属特別支援学校



厚生補導施設等

体育施設

施設名 地区名	体 育 館	弓 道 場	柔 道 場	剣 道 場	武 道 場	テ ニ ス コ ー ト	グ ラ ウ ン ド	バ レ ー コ ー ト	ブ ー ル	ハ ン ド ボ ー ル コ ー ト	備 考
文 教 地 区	2	1	1	1		4	1	1	1	1	・柔道場、剣道場及び武道場は各地区の体育館内 ・文教地区バレーコートはテニスコートと兼用
片 淵 地 区	1					4	1				
坂 本 地 区	2	1			1	2	1				
計	5	2	1	1	1	10	3	2	1	1	

その他主たる施設

名 称	部 局	場 所	主 な 施 設	主 な 事 業	事 業 体
臨海研修所	学生支援部	西彼杵郡時津町子々川郷	宿泊施設 食堂 ボート	学生の課外活動 教職員研修会 レクリエーション	長崎大学
課外活動 共用施設	//	文教町1-14 長崎大学文教地区構内	共用室・研修室 ミーティングルーム	学生の課外活動	長崎大学
学生会館	//	//	キャリアセンター 集会室 和室・茶室 多目的室 食堂・喫茶 売店	講義、キャリア形成、ボランティアの相談 学生の課外活動 食品販売 食堂・喫茶 書籍・日用品販売	長崎大学 長崎大学生協同組合 業者
学生プラザ	//	//	多目的ホール1 多目的ホール2	学生の課外活動	長崎大学
グローバル教育・ 学生支援棟	//	//	文教スカイホール	講義、講演会 学生の課外活動	長崎大学
学生交流プラザ	//	//	スチューデントカフェミーティングルーム	談話室	長崎大学
課外活動等 共用施設	経済学部	片淵4丁目2-1 長崎大学経済学部構内	談話室 共用室 共有会議室 音楽練習室 制作室・暗室 研修室	学生の課外活動	長崎大学
坂本1団地地区 課外活動共用施設	医学部 医学科	坂本1丁目12-4 長崎大学医学部構内	共用室 音楽練習室 室外器具庫	学生の課外活動	長崎大学
坂本2団地地区 課外活動共用施設	医学部 保健学科	坂本1丁目7-1 長崎大学医学部保健学科構内	器具庫	学生の課外活動	長崎大学

名 称	部 局	場 所	主 な 施 設	主 な 事 業	事 業 体
扶 揺 会 館	経済学部	片淵4丁目2-1 長崎大学経済学部構内	談 話 室 食 堂 ・ 売 店	食 堂 ・ 書 籍 ・ 日 用 品 販 売	長 崎 大 学 長崎大学生協同組合
福 利 厚 生 施 設	医 学 部 医 学 科	坂本1丁目12-4 長崎大学医学部構内	談 話 室 食 堂 ・ 売 店	食 堂 書 籍 ・ 食 品 ・ 日 用 品 販 売	長 崎 大 学 長崎大学生協同組合
//	歯 学 部	坂本1丁目7-1 長崎大学歯学部構内 (2店舗)	学 生 自 習 室 ・ セ ミ ナ ー 室 ・ 和 室 食 堂 ・ 売 店	学 生 の 課 外 活 動 食 堂 書 籍 ・ 食 品 ・ 日 用 品 販 売	長 崎 大 学 長崎大学生協同組合
//	医 学 部 保 健 学 科	坂本1丁目7-1 長崎大学医学部保健 学科構内 (2店舗)	食 堂 売 店	食 堂 日 用 品 販 売	長崎大学生協同組合

土地・建物・船舶

土地・建物

施 設 等	所 在 地	土 地 (㎡)		建 物 (㎡)	
		大 学	借 用	大 学	借 用
文 教 キ ャ ン パ ス	長崎市文教町1-14	187,125		41,299 120,926	
教 職 員 施 設 (観月荘)	長崎市上西山町11-1, 11-13	903		228 399	
臨 海 研 修 所	西彼杵郡時津町子々川郷	1,451	229	371 616	
教育学部附属幼稚園, 附属小学校, 附属中学校	長崎市文教町4-23	51,185		8,988 16,160	
教育学部附属特別支援学校	長崎市柳谷町42-1	12,529		2,452 3,527	
片 淵 キ ャ ン パ ス	長崎市片淵4丁目2-1	51,723		6,840 16,422	
坂 本 キ ャ ン パ ス 1	長崎市坂本1丁目12-4	92,176		21,002 66,824	
医 学 部 納 骨 堂	長崎市銭座町4-59		48	13 13	
坂 本 キ ャ ン パ ス 2	長崎市坂本1丁目7-1	86,807		32,593 171,237	
野 母 崎 研 究 施 設	長崎市野母町1321	15,899		448 448	
海洋未来イノベーション機構 環東シナ海環境資源研究センター	長崎市多以良町1551-7	10,900		1,688 2,648	
職 員 宿 舎		22,434		2,600 11,335	1,106 3,304

施設等	所在地	土地 (㎡)		建物 (㎡)	
		大学	借用	大学	借用
国際交流会館	長崎市西町12-1	3,044		635	499
職員宿舎		3,008		1,837	1,300
国際学寮ホルテンシア	長崎市白鳥町8-77, 8-78		3,142		722
旧九州地区国立大学島原共同研修センター	島原市礪石原町甲1201	120,286		1,793	
				2,329	
計		659,470	3,419	120,950	3,237
				414,721	9,184
合計			662,889	124,187	423,905
				423,905	

船舶

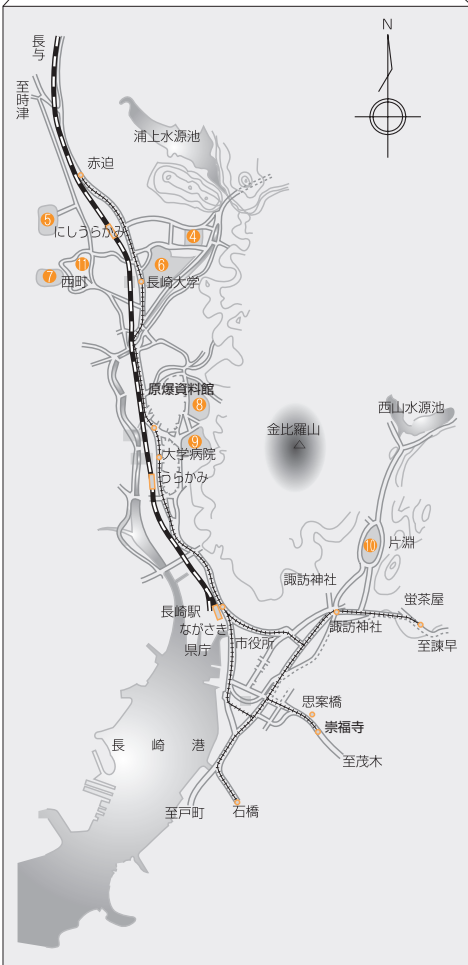
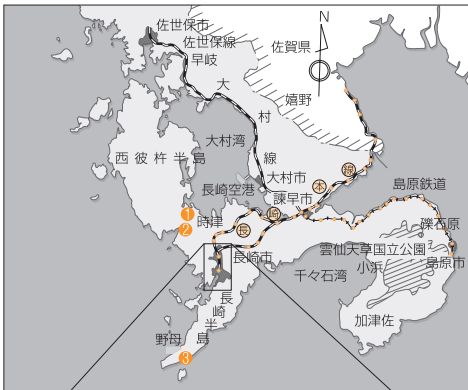
所属	船名	構成	総トン数	出力	備考
水産学部	長崎丸	鋼船	1,507.00	1,000kw×2	教員, その他の船員30名, 学生収容人員40名
	鶴洋丸	アルミニウム合金船	249.00	1,050kw×2	教員, その他の船員, 学生, 総収容人員18名
学生支援部	琴風	F R P	1.7	90	救助艇, 乗船定員10名

部局等所在地一覧

部局の名称	電話番号	所在地
・計画・評価本部	095-819-2020	〒852-8521 長崎市文教町1-14
・広報戦略本部	095-819-2007	//
	095-819-2156 (FAX番号)	
・原子力災害対策戦略本部	095-819-8536	〒852-8501 長崎市坂本1丁目7-1
・インスティテューショナル・リサーチ推進本部	095-800-4112	〒852-8521 長崎市文教町1-14
・ダイバーシティ推進センター	095-819-2889	//
・校友会	095-819-2155	//
・バイオセーフティ管理監室	095-819-8506	〒852-8523 長崎市坂本1丁目12-4
・監査室	095-819-2182	〒852-8521 長崎市文教町1-14
・事務局	095-819-2065 (政策企画課)	〒852-8521 長崎市文教町1-14 (熱帯医学研究支援課は除く)
	095-819-2048 (経営企画課)	
	095-819-2878 (研究推進課)	
	095-819-2039 (学術支援課)	
	095-819-2043 (国際企画課)	
	095-819-7008 (熱帯医学研究支援課)	〒852-8523 長崎市坂本1丁目12-4 (他の課は文教町1-14)
	095-819-2072 (教育支援課)	
	095-819-2103 (学生支援課)	
	095-819-2111 (入試課)	
	095-819-2124 (留学支援課)	
	095-819-2016 (管理課)	
	095-819-2032 (人事課)	
	095-819-2050 (経理調達課)	
	095-819-2131 (施設企画課)	
	095-819-2137 (施設整備課)	
	095-819-2141 (施設管理課)	
	095-819-2022 (情報企画課)	
	095-819-2193 (学術情報管理課)	
・多文化社会学部	095-819-2934	〒852-8521 長崎市文教町1-14
・教育学部	095-819-2263	//
附属幼稚園	095-819-2288	〒852-8131 長崎市文教町4-23
附属小学校	095-819-2272	//
附属中学校	095-819-2278	//
附属特別支援学校	095-845-5646	〒852-8046 長崎市柳谷町42-1
・経済学部	095-820-6300	〒850-8506 長崎市片淵4丁目2-1
・医学部		
医学科	095-819-7004	〒852-8523 長崎市坂本1丁目12-4
保健学	095-819-7900 (番号案内)	〒852-8520 長崎市坂本1丁目7-1
・歯学部	095-819-7600	//
・薬学部	095-819-2413	〒852-8521 長崎市文教町1-14
・情報データ科学部	095-800-4101	//
・工学部	095-819-2489	//
・環境科学部	095-819-2713	//
・水産学	095-819-2793	//
水産学部附属練習船長崎丸	090-3023-5210	〒851-2213 長崎市多以良町
水産学部附属練習船鶴洋丸	090-3022-2044	//
・多文化社会学研究科	095-819-2934	〒852-8521 長崎市文教町1-14
・教育学研究科	095-819-2266	//
・経済学研究科	095-820-6300	〒850-8506 長崎市片淵4丁目2-1
・工学研究科	095-819-2489	〒852-8521 長崎市文教町1-14
・水産・環境科学総合研究科		//
水産科学領域	095-819-2793	
環境科学領域	095-819-2713	

部 局 の 名 称	電 話 番 号	所 在 地
・医歯薬学総合研究科 (医学系)	095-819-7004	〒852-8523 長崎市坂本1丁目12-4
(保健学系)	095-819-7900 (番号案内)	〒852-8520 長崎市坂本1丁目7-1
(歯学系)	095-819-7600 //	〒852-8588 //
(薬学系)	095-819-2413	〒852-8521 長崎市文教町1-14
附属先進予防医学研究センター	095-819-7004	〒852-8523 長崎市坂本1丁目12-4
附属薬用植物園	095-819-2413	〒852-8521 長崎市文教町1-14
・熱帯医学・グローバルヘルス研究科	095-819-7008	〒852-8523 長崎市坂本1丁目12-4
・熱帯医学研究所	095-819-7800 (番号案内)	//
附属アジア・アフリカ感染症研究施設	//	//
附属熱帯医学ミュージアム	095-819-7868	//
・原爆後障害医療研究所	095-819-7004	〒852-8523 長崎市坂本1丁目12-4
附属放射線・環境健康影響共同研究推進センター	//	//
・高度感染症研究センター	095-800-4300	//
附属BSL-4施設	//	//
・病院	095-819-7200 (番号案内)	〒852-8501 長崎市坂本1丁目7-1
・附属図書館 (中央図書館)	095-819-2193	〒852-8521 長崎市文教町1-14
附属図書館 (医学分館)	095-819-7013	〒852-8523 長崎市坂本1丁目12-4
附属図書館 (経済学部分館)	095-820-6309	〒850-8506 長崎市片淵4丁目2-1
・保健センター	095-819-2214	〒852-8521 長崎市文教町1-14
・放射線総合センター	095-819-7150	〒852-8523 長崎市坂本1丁目12-4
・IC T基盤センター	095-819-2222	〒852-8521 長崎市文教町1-14
・言語教育研究センター	095-819-2077	//
・核兵器廃絶研究センター	095-819-2164	//
・留学生教育・支援センター	095-819-2124	//
・環境保全センター	095-819-2247	//
・教育開発推進機構		//
大学教育イノベーションセンター	095-819-2077	
アドミッションセンター	095-819-2113	
生涯教育センター	095-819-2184	
・研究開発推進機構		〒852-8521 長崎市文教町1-14
研究推進部門	095-819-2208	
産学官連携・知的財産部門	095-819-2231、095-819-2188	
リスクマネジメント部門	095-800-4114	
設備共同利用部門	095-819-2465	
人材育成部門	095-819-2229	
FFGアントレプレナーシップセンター	095-800-4121、095-800-4122	
・グローバル連携機構	095-819-2043	〒852-8521 長崎市文教町1-14
・海洋未来イノベーション機構	095-819-2039	//
環東シナ海環境資源研究センター	095-850-7311	〒851-2213 長崎市多以良町1551-7
・キャリアセンター	095-819-2101	〒852-8521 長崎市文教町1-14
・障がい学生支援室	095-819-2006	//
	095-819-2974 (FAX番号)	
・子どもの心の医療・教育センター	095-819-7926	〒852-8520 長崎市坂本1丁目7-1
・先端創薬イノベーションセンター	095-819-2230	〒852-8521 長崎市文教町1-14
・福島未来創造支援研究センター	095-819-7098	〒852-8501 長崎市坂本1丁目7-1
・国際交流会館	095-845-0201	〒852-8043 長崎市西町12-1
・国際交流会館坂本分館	095-819-7519	〒852-8102 長崎市坂本1丁目7-1
・国際学寮ホルテンシア	095-819-2103	〒852-8042 長崎市白鳥町8-77、8-78
・臨海研修所	095-882-8301	〒851-2111 西彼杵郡時津町子々川郷
・東京事務所	03-6257-1940	〒160-0004 東京都新宿区四谷1-10-2 長崎県東京産業支援センター303号室

長崎大学位置図



- ① 臨海研修所
- ② 海洋未来イノベーション機構 環東シナ海環境資源研究センター
- ③ 野母崎研究施設
- ④ 教育学部附属幼稚園, 附属小学校, 附属中学校
- ⑤ 教育学部附属特別支援学校
- ⑥ 計画・評価本部, 広報戦略本部, インスティテューショナル・リサーチ推進本部, ダイバーシティ推進センター, 監査室, 事務局, 多文化社会学部, 教育学部, 薬学部, 情報データ科学部, 工学部, 環境科学部, 水産学部, 多文化社会学研究科, 教育学研究科, 医歯薬学総合研究科(薬学系), 工学研究科, 水産・環境科学総合研究科, 附属図書館, 附属薬用植物園, 保健センター, ICT基盤センター, 言語教育研究センター, 核兵器廃絶研究センター, 留学生教育・支援センター, 環境保全センター, 教育開発推進機構, 研究開発推進機構, グローバル連携機構, 海洋未来イノベーション機構, キャリアセンター, 障がい学生支援室, 先端創薬イノベーションセンター
- ⑦ 国際交流会館
- ⑧ 医学部(医学科), 熱帯医学研究所, 原爆後障害医療研究所, 高度感染症研究センター, 医歯薬学総合研究科(医学系), 先導生命科学支援センター, 附属図書館(医学分館), 熱帯医学・グローバルヘルス研究科
- ⑨ 病院, 歯学部, 薬学部
医歯薬学総合研究科(保健学系・歯学系・薬学系), 医学部(保健学科), 国際交流会館坂本分館, 原子力災害対策戦略本部, 子どもの心の医療・教育センター 福島未来創造支援研究センター
- ⑩ 経済学部, 経済学研究科, 附属図書館(経済学部分館)
- ⑪ 国際学寮ホルテンシア

長崎大学ロゴマーク

正式ロゴマーク



従来、長崎大学で使用されていたシンボルマーク（帆船マーク）は、昭和24年に大学構成員の連帯意識を高め、総合大学として発展するための心のよりどころとして、鎖国時代の文化の門戸であった長崎に因むオランダ船の舳先にNU(Nagasaki University)の頭文字を付け、右肩に「大學」の字を配したマークが制定されました。

国立大学法人化を機に従来のシンボルマークを精緻化し、新たに正式ロゴマークとして平成17年4月1日に制定したものです。

略式ロゴマーク



正式ロゴマークとは別に広く使用するものとして新たに略式ロゴマークを平成17年4月1日に制定しました。

中央にある“黄色系の図形”は「学生・教職員」を、右にある“緑色系の図形”は自然環境の豊かな「地域・日本国土」を、そして左にある“青色系の図形”は「地域・日本国土」を取り巻く「広大な海とその先にある国際社会」を表します。

これらの図形の“重なり”はそれぞれの分野での「調和と貢献」を、また“黄色系の円”は「創造」を表しています。

全体を見ると「学生・教職員」と「地域・日本国土」とにより形作られる“人”と「国際社会」とにより形作られた“人”とはさらに合わさって、「長崎大学」を表す“N”を構成しています。



国立大学法人

長崎大学
NAGASAKI UNIVERSITY

【編集発行】長崎大学広報戦略本部

〒852-8521 長崎市文教町1-14

TEL 095-819-2007

URL <https://www.nagasaki-u.ac.jp/>

2022年7月発行

